

令和 2 年 7 月 4 日現在

機関番号：14301

研究種目：新学術領域研究(研究領域提案型)

研究期間：2015～2019

課題番号：15H05909

研究課題名(和文)大規模シーケンスとコンピューティングによるがんの進化と多様性の解明

研究課題名(英文)Research on cancer evolution and heterogeneity using large-scale sequencing

研究代表者

小川 誠司(OGAWA, SEISHI)

京都大学・医学研究科・教授

研究者番号：60292900

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 197,700,000円

研究成果の概要(和文)：がんの進化と多様性の解明のため、一見正常な組織、慢性期のがん、および進行期のがんを、微少サンプリングや単一細胞培養などの革新的な手法を用いて大規模にゲノム解析を施行し、加齢・炎症・喫煙・飲酒・病期の進行によってどのように遺伝子異常が蓄積されるかを明らかにした。さらに非翻訳領域の重要な構造異常を全ゲノムシーケンスで同定し、大規模な健常者のシーケンスで重要な胚細胞変異のリスクを明らかにすると共に、多数の臨床シーケンスで重要なバイオマーカーを同定した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究では全ゲノムシーケンスや大規模臨床シーケンスで重要な構造異常や遺伝子変異、治療反応性に関わるバイオマーカーを同定した。今後これらの分子を標的とした新規治療薬の開発も期待され、癌の診断、治療、予後予測に大きく貢献することが期待される。また健常人にもある一定の確率で必然的に生ずる微小クローンの生成が、様々な外的要因の影響を受けながらがんへと進化していく過程を明らかにしたが、これはがんの起源を理解する上で非常に重要な学術的意義を有するものである。

研究成果の概要(英文)：In order to elucidate the evolution and diversity of cancer, we analyzed apparently normal tissues and different stages of cancers using innovative methods such as micro-sampling and single cell culture. We revealed how genetic abnormalities are accumulated by aging, inflammation, smoking, drinking and disease progression. In addition, important structural abnormalities in the untranslated region were identified by whole-genome sequencing. We also revealed the risk of important germ-line mutations in a large-scale sequence in healthy individuals and identified important biomarkers in clinical sequences.

研究分野：総合生物、腫瘍学、腫瘍診断学、ゲノム科学

キーワード：RNAシーケンス 総合生物 ゲノム科学 システムゲノム科学 腫瘍学

様式 C-19、F-19-1、Z-19 (共通)

1. 研究開始当初の背景

癌は本質的にゲノムの変異に起因して生ずる疾患であって、主要な癌腫に関してその発症に関わる主要な遺伝子変異の多くは同定された。申請者らも、骨髄異形成症候群をはじめとする骨髄系腫瘍、腎臓明細胞癌、脳腫瘍における遺伝子変異の全体像の解明で世界をリードする成果を重ねてきた。しかし、一方で、こうしたシーケンスの技術革新によって、従来の技術では全く垣間見ることのできなかった癌の重要な特性や、我々が癌を理解・診断・治療する上での新たな問題点も、浮き彫りにされてきた。すなわち、

(1) 癌は遺伝子変異の観点からすると、驚くべき多様な細胞からなる細胞集団であって、これが、治療抵抗性の獲得や再発と密接に関わっている可能性があること(癌の空間的多様性)

(2) この「集団」は絶えず変貌する集団であって、集団内で持続する新たな変異の獲得とクローン選択によって絶えず進化を遂げていること(時間的多様性)、そして、これらの多様性の理解が、癌の診断、治療、予後予測に大きく貢献する可能性があること、

(3) がんの起源はしばしば加齢や外界(生活環境)の影響をうけて、健常人にもある一定の確率で必然的に生ずる微小クローンの生成に求められる可能性があること(癌の起源)

(4) がんの変異はしばしば蛋白をコードする領域以外でも生じており、遺伝子発現制御領域に影響する変異や構造異常が癌の発症に大変重要な役割を演じていることが明らかにされ、全ゲノムシーケンスの知見が今後ますます重要になってくること、

(5) がんの発症には従来予測されている以上に、個体が持って生まれた胚細胞系列の異常が大きく影響しており、人類集団に希に存在する、あるいは新たに獲得される胚細胞性変異が極めて大きな癌の発症リスクに関わっていること(胚細胞変異の役割)、などである。

このような観点から、国際的な癌ゲノム解析のコミュニティーでは、がんの起源と多様性の理解へ、全エクソン解析から全ゲノム解析へ、また、胚細胞変異の解析へと大きなパラダイムシフトが生じている。

2. 研究の目的

(1) 癌という疾患を、「ゲノムの変異によってドライブされ、絶えず進化を続ける細胞集団」として捉えた上で、適切に採取された臨床試料の大規模なシーケンスとインフォーマティクス解析を通じて、その起源から多様性の獲得にいたる過程を遺伝学的・生物学的に明らかにすること。腫瘍および周辺正常組織、また、経時的試料の多数サンプリングを行い、これらに生じている体細胞変異の種類、数、アレル負荷を正確に測定・解析することにより、変異の観点からみた癌の起源、多様性、進化、また治療との関連性について明らかにする。

(2) 全ゲノムシーケンスにより、これらの過程に関わる変異とこれらの変異によるクローン選択のメカニズムの全体像を明らかにすること。繰り返し認められる体細胞変異、ゲノムコピー数異常、および構造異常を同定する。

(3) 癌の発症に関わる胚細胞系列における変異の同定。腫瘍の発症にかかわる胚細胞系列の変異を同定する。

(4) 高頻度にとめられる遺伝子変異、ゲノムコピー数異常/アレル不均衡について、標的シーケンス法を用いた効率的な遺伝子プロファイリングシステム(臨床シーケンス)を開発する。

3. 研究の方法

(1) 癌の起源と進化

本研究の主要な成果である癌の起源の解析では、これまで困難であった正常組織でのクローン拡大を解析するために創意工夫を凝らし、様々な解析手法を確立した。正常部での変異細胞のクローンサイズは小さいため、組織に応じた微少サンプリング手法を開発した。食道では微小領域のパンチ生検法を開発し、同時に単一細胞を個別に培養を行うことで単一細胞由来のゲノム DNA での全ゲノムや全エクソンシーケンスを行った。大腸では単一陰窩は一つの幹細胞由来であるため、陰窩単位での上皮サンプリング法を確立した。

進化の解析では、同一症例での複数の病期の検体を含む、異なる病期の多数の検体をシーケンスし、癌の病期進行における変異の意義を検証した。

(2) 全ゲノムシーケンス

蛋白をコードする領域以外の異常の同定のため、高感度に構造異常を同定する解析手法を開発・適用すると共に、全ゲノムシーケンスに加えて RNA シーケンス等のマルチオミクスを駆使して解析を遂行した。

(3) 胚細胞変異

日本バイオバンクの 1 万例を超える健常試料等、多数のシーケンスを施行すると共に、多数の腫瘍サンプルのシーケンスと併せてリスクアレル等の解析を試みた。

(4) 臨床シーケンス

約 800 例の移植治療を行った骨髄異形成症候群 (MDS) の症例や、約 2000 例の大腸癌の症例など、臨床情報の明らかな多数の症例で標的シーケンスを施行し、遺伝子異常の臨床的意義を検討すると共に、重要な遺伝子領域だけでなく、コピー数評価や重要な構造異常も同定可能なパネルの開発・検証を行った。

4. 研究成果

(1) 食道上皮における加齢に伴うがん遺伝子の変異を獲得した細胞での再構築

食道がんが高度の飲酒歴と喫煙歴を有する人に好発することに着目し、食道癌の起源を解析するため、「一見正常」な食道に生じている遺伝子変異を、多数の微小(4mm²~0.2mm²)サンプリングによる次世代シーケンスで解析した。

その結果、食道上皮は、加齢に伴い、食道がんで頻繁に認められる遺伝子の変異を獲得した細胞が徐々に増えていき、70歳を超える高齢者では、全食道面積の40%から80%が、こうしたがん遺伝子の変異をもった細胞で置換されていた。こうした食道上皮の異常な細胞による「再構築」は、すでに乳児の時期から始まっており、全ての健常人で例外なく認められたが、高度の飲酒と喫煙歴のある人では、この過程が強く促進され、さらに、がんで最も高頻度に異常が認められる TP53 遺伝子や染色体に異常を有する細胞の割合が顕著に増加していた。また興味深いことに一見正常な食道に生じる変異と、食道癌における変異の頻度には明確な違いを認めた(図1)

なぜがんが高齢者に好発するのか、また、それがどのようにして飲酒や喫煙といったリスクによって促進されるのかについて、重要な手がかりを与える知見が得られた(Yokoyama et al. Nature 2019)。

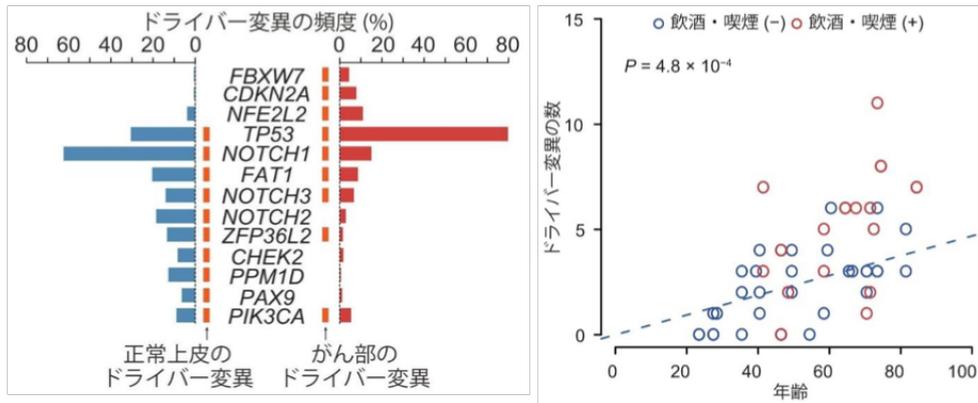


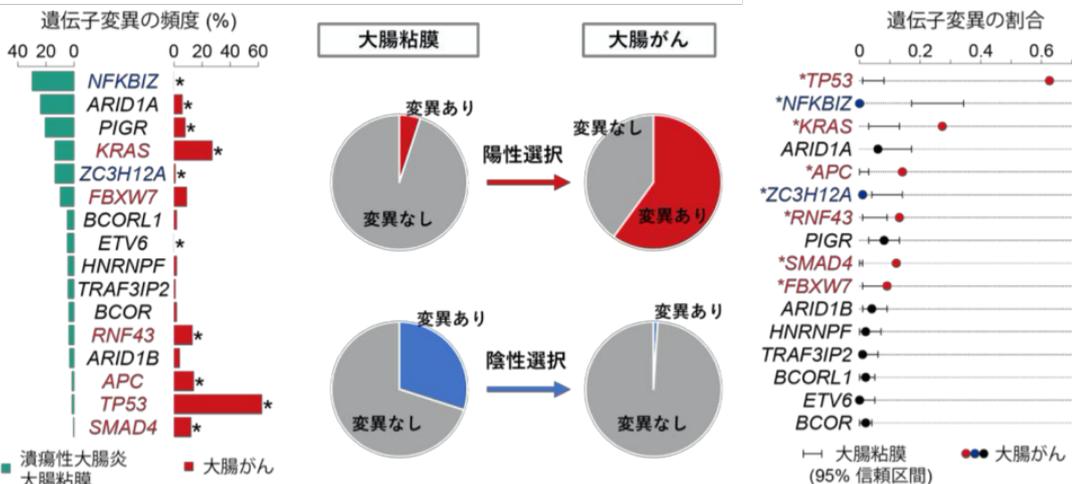
図1 正常食道上皮と食道がんのドライバー変異の頻度 / 正常上皮におけるドライバー変異と年齢の関係

(2) 潰瘍性大腸炎における上皮再構築メカニズムと発がんとの関係

潰瘍性大腸炎では、大腸粘膜が長期間の炎症に暴露され、これを背景として大腸癌が発症する。これらのサンプルから微小サンプル(接着剤による単一陰窩採取等)を多数採取し、大規模にゲノム解析を行った。潰瘍性大腸炎の長期罹患患者の大腸上皮は、大腸がんで認められる遺伝子変異の他に、炎症に関わる IL-17 シグナル経路の遺伝子変異 (*NFKB1Z*, *TRAF3IP2*, *ZC3H12A*, *PIGR*, *HNRNPF*) を獲得した細胞が増加し、直腸では全体の50~80%の面積がこれらの遺伝子変異を有する細胞によって置換されていた。

また、潰瘍性大腸炎患者の大腸粘膜で高頻度に認められる IL-17 シグナル経路の遺伝子のうち、*NFKB1Z* ($I\kappa B\zeta$) や *ZC3H12A* (Regnase-1) の変異は大腸がんでほとんど認められず(図2)、さらに、これらの遺伝子に変異を獲得した上皮細胞は発がんしがたい傾向にあった(図3)。

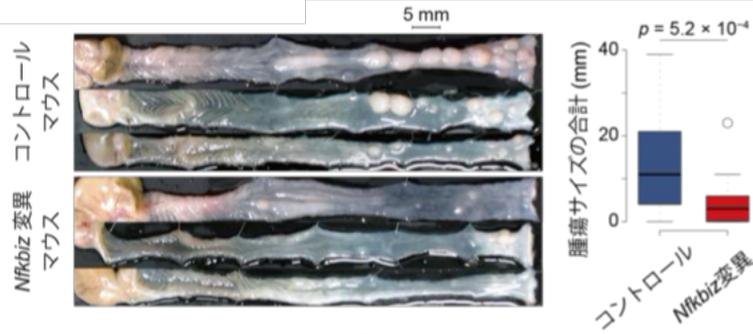
図2 潰瘍性大腸炎の大腸粘膜とがんにおける遺伝子変異の比較



これらの結果は潰瘍性大腸炎の発症メカニズムの解明に資するとともに、*NFKB1Z* ($I\kappa B\zeta$) や *ZC3H12A* (Regnase-1) を標的とした潰瘍性大腸炎や大腸がんの新規治療薬やその予防法の開発に重要な手がかりを与える知見であり、今後これらの分子を標的とした新規治療薬

の開発が期待される(Kakiuchi et al. Nature 2020)。

図3 潰瘍性大腸炎の大腸粘膜とがんにおける遺伝子変異の比較



(3) 骨髄異形成症候群におけるクローン進化の解明

骨髄異形成症候群(MDS)は慢性の造血障害を起こした後、急性骨髄性白血病(AML)を発症する。我々はこの進展機構を解析するために、122例の時系列で採取した複数の検体を含む、合計2250例のMDSの患者を対象として全エクソンシーケンスおよびパネルシーケンスを行った。MDSがAMLへ進行する際に、二つのタイプ(タイプ1: *FLT3*, *PTPN11*, *WT1*, *IDH1*, *NPM1*, *IDH2*, *NRAS*; タイプ2: *TP53*, *GATA2*, *KRAS*, *RUNX1*, *STAG2*, *ASXL1*, *ZRSR2*, *TET2*)のゲノム異常が細胞に蓄積し、異常クローンが増大していた。また、低リスク骨髄異形成症候群に「タイプ2ゲノム異常」が起こると白血病リスクの高い状態(高リスク)に移行し、

「タイプ1ゲノム異常」が起こると急性白血病が起こることが判明した(図4)。これらの遺伝子異常は、骨髄異形成症候群の低リスクから高リスク症例への進行、および二次性急性白血病進展を予測するマーカーとしてスクリーニングに用いられることが期待される(Makishima et al. Nature Genetics 2016)。

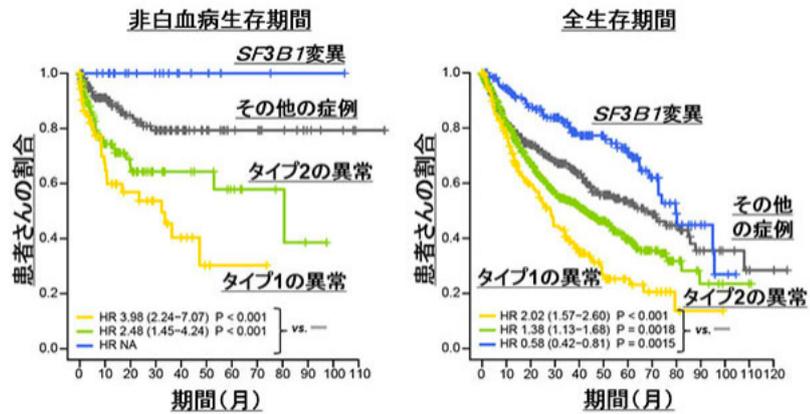


図4 タイプ1とタイプ2の遺伝子異常の臨床的意義

(4) 様々な腫瘍における3'非翻訳領域の異常によるPD-L1の異常発現

成人T細胞白血病(ATL)の全ゲノムシーケンスの解析により、ATLの約25%の症例で、免疫チェックポイントの一つであるPD-L1遺伝子の3'非翻訳領域(3'UTR)に様々な構造異常が生じ、PD-L1の著しい発現上昇が惹起されることが明らかとなった(図5)。さらに、京コンピュータ等を駆使した10000例を超えるがんのRNAシーケンスデータの解析から、同様の異常が様々な癌腫で認められたことから、PD-L1の構造異常を介した免疫回避がヒトのがんで重要な役割を担っていることが示唆された。また本構造異常は、抗PD-L1抗体や抗PD-L1抗体による免疫チェックポイント阻害が治療上、特に有用と思われる症例を見出すための有用なマーカーとなる可能性があることが期待される(Kataoka et al. Nature 2016)。

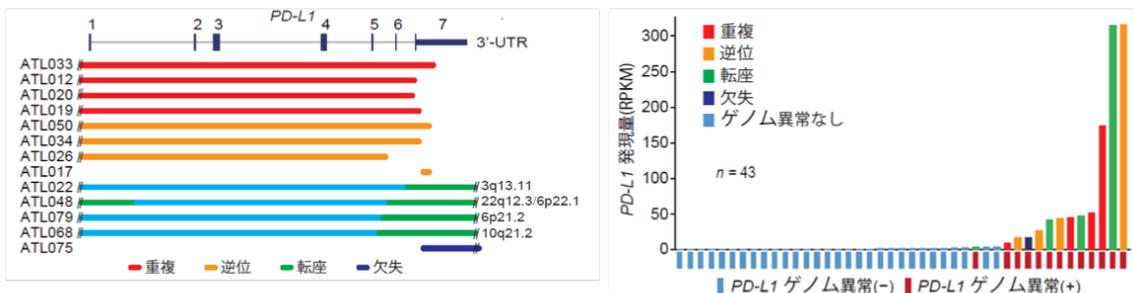


図5 PD-L1のゲノム異常と発現量

(5) 造血器腫瘍での胚細胞変異の解析

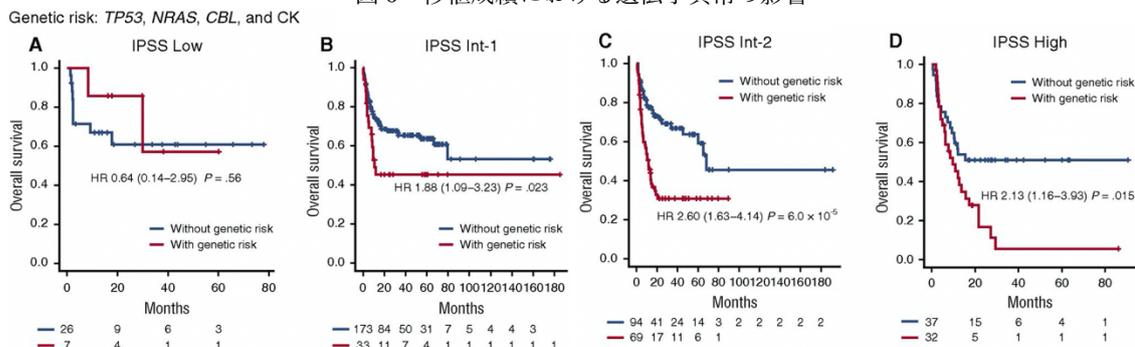
日本骨髄バンクのMDSの保存試料および本事業で集積されたに多数の日本人MDS試料、さらに国際共同研究のMDS試料をあわせた合計約2000、および日本バイオバンクの1万例を超える健常試料について、骨髄腫瘍の発症に関わる胚細胞変異の種類と頻度を解析した。我々は過去に晩期発症の家族性MDSの原因遺伝子として*DDX41*の変異を報告しているが、今回の解析で新たに複数の*DDX41*のリスクアレルが同定された。また、驚くべきことに*DDX41*の胚細胞変異は、我が国における孤発性高リスクMDSの数%もの症例において認められ、MDSの発症には胚細胞変異が予想以上に大きな役割を担っていることが明らかとなった(投稿準備中)。

また、同*DDX41*遺伝子の遺伝子改変マウスを樹立して行った解析では、*DDX41*の欠失だけでなく変異体に置換したマウスでも高度な造血不全を認めた。単一細胞解析やRNAシーケンス等で*DDX41*の造血器における標的パスウェイを同定した(Kon et al 日本血液学会2019)。

(6) 遺伝子異常の骨髄形成症候群の移植治療における臨床的意義

日本骨髄バンクを通じて非血縁移植が行われたMDS症例約800例について、骨髄系腫瘍で高頻度に変異する遺伝子に関する網羅的な標的シーケンスを行い、遺伝子変異が移植成績に及ぼす効果を明らかにした。*TP53*変異と複雑な染色体異常を有する症例では移植治療でも難治性であったが、いずれか一方のみの場合には長期生存が期待される結果であった。臨床シーケンスで遺伝子異常を同定することは予後予想に重要な役割を果たすことが示された。同時に、重要な遺伝子だけでなく、コピー数異常の評価や重要な構造異常を同定可能なシーケンスパネルの検証・改良を進めた(Yoshizato et al. Blood 2017)。

図6 移植成績における遺伝子異常の影響



(7) 2000例の大腸癌での臨床シーケンス

StageII/IIIの大腸癌検体2000例について既知のドライバー変異やコピー数異常を同定可能なパネルシーケンスを開発し、遺伝子変異の同定およびコピー数異常を同定した。さらに同2000検体についてRNAシーケンスを行うことで、遺伝子発現プロファイルおよび融合遺伝子を同定した。これらの大規模なゲノムおよびトランスクリプトームを臨床情報と統合的に解析することにより、病型分類や予後予想のバイオマーカーについて重要な知見を得ることができた(Inoue et al. 日本癌学会2019)。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計178件（うち査読付論文 175件 / うち国際共著 66件 / うちオープンアクセス 114件）

1. 著者名 Ogawa Seishi	4. 巻 133
2. 論文標題 Genetics of MDS	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Blood	6. 最初と最後の頁 1049 ~ 1059
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1182/blood-2018-10-844621	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 安達 正晃、吉田 健一、白石 友一、千葉 健一、宮野 悟、小川 誠司	4. 巻 60
2. 論文標題 赤芽球癆に対しシクロスポリンが奏効したSTAT3遺伝子D661V変異を有するT細胞大顆粒リンパ球性白血病	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 臨床血液	6. 最初と最後の頁 39 ~ 45
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11406/rinketsu.60.39	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 Katagiri Seiichiro, Makishima Hideki, Azuma Kenko, Nannya Yasuhito, Saitoh Yuu, Yoshizawa Seiichiro, Akahane Daigo, Fujimoto Hiroaki, Ito Yoshikazu, Velaga Ravi, Umezu Tomohiro, Ohyashiki Junko H., Ogawa Seishi, Ohyashiki Kazuma	4. 巻 105
2. 論文標題 Predisposed genomic instability in pre-treatment bone marrow evolves to therapy-related myeloid neoplasms in malignant lymphoma	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Haematologica	6. 最初と最後の頁 e337 ~ e339
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3324/haematol.2019.229856	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 柴田 翔、小川 誠司、有馬 靖佳、北野 俊行、岡本 吉央、瀧内 曜子、山本 和代、田端 淑恵、饗庭 明子、吉田 裕治、南谷 泰仁	4. 巻 60
2. 論文標題 網羅的遺伝子検査によって診断が確定した本態性血小板血症	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 臨床血液	6. 最初と最後の頁 1630 ~ 1634
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11406/rinketsu.60.1630	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nguyen TB, Sakata-Yanagimoto M, Fujisawa M, Tanzima Nuhath S, Miyoshi H, Nannya Y, Hashimoto K, Fukumoto K, Bernard OA, Kiyoki Y, Ishitsuka K, Momose H, Sukegawa S, Shinagawa A, Suyama T, Sato Y, Nishikii H, Obara N, Kusakabe M, Yanagimoto S, Ogawa S, Ohshima K, Chiba S.	4. 巻 -
2. 論文標題 Dasatinib is an effective treatment for angioimmunoblastic T-cell lymphoma.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Cancer Res	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1158/0008-5472.	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Secardin Lise, Limia Cintia Elisabeth Gomez, di Stefano Antonio, Bonamino Martin Hernan, Saliba Joseph, Kataoka Keisuke, Rehen Stevens K., Raslova Hana, Marty Caroline, Ogawa Seishi, Vainchenker William, Monte-Mor Barbara da Costa Reis, Plo Isabelle	4. 巻 44
2. 論文標題 TET2 haploinsufficiency alters reprogramming into induced pluripotent stem cells	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Stem Cell Research	6. 最初と最後の頁 101755 ~ 101755
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.scr.2020.101755	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Ahn Jae-Sook, Kim TaeHyung, Kim Yeo-Kyeoung, Cho Young-Chang, Cho SaYeon, Jung Sung-Hoon, Ahn Seo-Yeon, Jung Seung-Yeon, Yang Deok-Hwan, Lee Je-Jung, Choi SeungHyun, Lee Ja-Yeon, Shin Myung-Geun, Yoshida Kenichi, Ogawa Seishi, Kim Il-Chul, Zhang ZhaoLei, Kim Hyeoung-Joon, Kim Dennis Dong Hwan	4. 巻 75
2. 論文標題 Remission clone in acute myeloid leukemia shows growth advantage after chemotherapy but is distinct from leukemic clone	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Experimental Hematology	6. 最初と最後の頁 26 ~ 30
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.exphem.2019.06.001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Becker Heiko, Greve Gabriele, Kataoka Keisuke, Mallm Jan-Philipp, Duque-Afonso Jes?s, Ma Tobias, Niem?ller Christoph, Pantic Milena, Duyster Justus, Cleary Michael L., Sch?ler Julia, Rippe Karsten, Ogawa Seishi, L?bbert Michael	4. 巻 3
2. 論文標題 Identification of enhancer of mRNA decapping 4 as a novel fusion partner of MLL in acute myeloid leukemia	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Blood Advances	6. 最初と最後の頁 761 ~ 765
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1182/bloodadvances.2018023879	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Christen Friederike, Ogawa S., et al.	4. 巻 133
2. 論文標題 Genomic landscape and clonal evolution of acute myeloid leukemia with t(8;21): an international study on 331 patients	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Blood	6. 最初と最後の頁 1140 ~ 1151
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1182/blood-2018-05-852822	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Chung Elaine Y., Mai Yun, Shah Urvi A., Wei Yongqiang, Ishida Elise, Kataoka Keisuke, Ren Xiaoxin, Pradhan Kith, Bartholdy Boris, Wei Xiaolei, Zou Yiyu, Zhang Jinghang, Ogawa Seishi, Steidl Ulrich, Zang Xingxing, Verma Amit, Janakiram Murali, Ye B. Hilda	4. 巻 25
2. 論文標題 PAK Kinase Inhibition Has Therapeutic Activity in Novel Preclinical Models of Adult T-Cell Leukemia/Lymphoma	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Clinical Cancer Research	6. 最初と最後の頁 3589 ~ 3601
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1158/1078-0432.CCR-18-3033	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Elbadry Mahmoud I., Mizumaki Hiroki, Hosokawa Kohei, Espinoza J. Luis, Nakagawa Noriharu, Chonabayashi Kazuhisa, Yoshida Yoshinori, Katagiri Takamasa, Hosomichi Kazuyoshi, Zaimoku Yoshitaka, Imi Tatsuya, Nguyen Mai Anh Thi, Fujii Youichi, Tajima Atsushi, Ogawa Seishi, Takenaka Katsuto, Akashi Koichi, Nakao Shinji	4. 巻 104
2. 論文標題 Escape hematopoiesis by HLA-B5401-lacking hematopoietic stem progenitor cells in men with acquired aplastic anemia	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Haematologica	6. 最初と最後の頁 e447 ~ e450
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3324/haematol.2018.210856	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Frick Mareike, Ogawa S., et al.	4. 巻 37
2. 論文標題 Role of Donor Clonal Hematopoiesis in Allogeneic Hematopoietic Stem-Cell Transplantation	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Clinical Oncology	6. 最初と最後の頁 375 ~ 385
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1200/JCO.2018.79.2184	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Funakoshi Taro, Miyamoto Shin'ichi, Kakiuchi Nobuyuki, Nikaido Mitsuhiro, Setoyama Takeshi, Yokoyama Akira, Horimatsu Takahiro, Yamada Atsushi, Torishima Masako, Kosugi Shinji, Yamada Hidetaka, Sugimura Haruhiko, Haga Hironori, Sakai Yoshiharu, Ogawa Seishi, Seno Hiroshi, Muto Manabu, Chiba Tsutomu	4. 巻 22
2. 論文標題 Genetic analysis of a case of Helicobacter pylori-uninfected intramucosal gastric cancer in a family with hereditary diffuse gastric cancer	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Gastric Cancer	6. 最初と最後の頁 892 ~ 898
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10120-018-00912-w	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Haase Detlef, Ogawa S., et al.	4. 巻 33
2. 論文標題 TP53 mutation status divides myelodysplastic syndromes with complex karyotypes into distinct prognostic subgroups	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Leukemia	6. 最初と最後の頁 1747 ~ 1758
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41375-018-0351-2	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Hoshino Akihiro, Yang Xi, Tanita Kay, Yoshida Kenichi, Ono Toshiaki, Nishida Naonori, Okuno Yusuke, Kanzaki Takeyuki, Goi Kumiko, Fujino Hisanori, Ohshima Koichi, Shiraishi Yuichi, Chiba Kenichi, Tanaka Hiroko, Miyano Satoru, Ogawa Seishi, Kojima Seiji, Morio Tomohiro, Kanegane Hirokazu	4. 巻 143
2. 論文標題 Modification of cellular and humoral immunity by somatically reverted T cells in X-linked lymphoproliferative syndrome type 1	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Allergy and Clinical Immunology	6. 最初と最後の頁 421 ~ 424.e11
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jaci.2018.07.044	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kataoka Keisuke, Ogawa S., et al.	4. 巻 33
2. 論文標題 Frequent structural variations involving programmed death ligands in Epstein-Barr virus-associated lymphomas	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Leukemia	6. 最初と最後の頁 1687 ~ 1699
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41375-019-0380-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kawashima Naomi, Ogawa S., et al.	4. 巻 98
2. 論文標題 Clinical significance of ASXL2 and ZBTB7A mutations and C-terminally truncated RUNX1-RUNX1T1 expression in AML patients with t(8;21) enrolled in the JALSG AML201 study	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Annals of Hematology	6. 最初と最後の頁 83 ~ 91
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00277-018-3492-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kim Soo Ki, Takeda Haruhiko, Takai Atsushi, Matsumoto Tomonori, Kakiuchi Nobuyuki, Yokoyama Akira, Yoshida Kenichi, Kaido Toshimi, Uemoto Shinji, Minamiguchi Sachiko, Haga Hironori, Shiraishi Yuichi, Miyano Satoru, Seno Hiroshi, Ogawa Seishi, Marusawa Hiroyuki	4. 巻 54
2. 論文標題 Comprehensive analysis of genetic aberrations linked to tumorigenesis in regenerative nodules of liver cirrhosis	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Gastroenterology	6. 最初と最後の頁 628 ~ 640
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00535-019-01555-z	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kimura Shunsuke, Hasegawa Daisuke, Yoshimoto Yuri, Seki Masafumi, Daida Atsuro, Sekiguchi Masahiro, Hirabayashi Shinsuke, Hosoya Yosuke, Kobayashi Masao, Miyano Satoru, Ogawa Seishi, Takita Junko, Manabe Atsushi	4. 巻 -
2. 論文標題 Duplication of ALK F1245 missense mutation due to acquired uniparental disomy associated with aggressive progression in a patient with relapsed neuroblastoma	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Oncology Letters	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3892/ol.2019.9985	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kimura Shunsuke, Seki Masafumi, Yoshida Kenichi, Shiraishi Yuichi, Akiyama Masaharu, Koh Katsuyoshi, Imamura Toshihiko, Manabe Atsushi, Hayashi Yasuhide, Kobayashi Masao, Oka Akira, Miyano Satoru, Ogawa Seishi, Takita Junko	4. 巻 110
2. 論文標題 NOTCH 1 pathway activating mutations and clonal evolution in pediatric T cell acute lymphoblastic leukemia	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Cancer Science	6. 最初と最後の頁 784 ~ 794
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cas.13859	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kobayashi Kenichiro, Mizuta Shumpei, Yamane Noriko, Ueno Hiroo, Yoshida Kenichi, Kato Itaru, Umeda Katsutsugu, Hiramatsu Hidefumi, Suehiro Minoru, Maihara Toshiro, Usami Ikuya, Shiraishi Yuichi, Chiba Kenichi, Miyano Satoru, Adachi Souichio, Ogawa Seishi, Kiyokawa Nobutaka, Heike Toshio	4. 巻 66
2. 論文標題 Paraneoplastic hypereosinophilic syndrome associated with IL3-IgH positive acute lymphoblastic leukemia	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Pediatric Blood & Cancer	6. 最初と最後の頁 e27449 ~ e27449
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/pbc.27449	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kohara Hiroshi, Ogawa S., et al.	4. 巻 73
2. 論文標題 KLF1 mutation E325K induces cell cycle arrest in erythroid cells differentiated from congenital dyserythropoietic anemia patient-specific induced pluripotent stem cells	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Experimental Hematology	6. 最初と最後の頁 25 ~ 37.e8
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.exphem.2019.03.001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kotani Shinichi, Ogawa S., et al.	4. 巻 33
2. 論文標題 Molecular pathogenesis of disease progression in MLL-rearranged AML	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Leukemia	6. 最初と最後の頁 612 ~ 624
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41375-018-0253-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kubota Yasuo, Ogawa S., et al.	4. 巻 110
2. 論文標題 Integrated genetic and epigenetic analysis revealed heterogeneity of acute lymphoblastic leukemia in Down syndrome	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Cancer Science	6. 最初と最後の頁 3358 ~ 3367
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cas.14160	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Labuhn M, Ogawa S., et al.	4. 巻 36(2)
2. 論文標題 Mechanisms of Progression of Myeloid Preleukemia to Transformed Myeloid Leukemia in Children with Down Syndrome.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Cancer Cell.	6. 最初と最後の頁 123-138
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ccell.2019.06.00	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Masaki S, Ikeda S, Hata A, Shiozawa Y, Kon A, Ogawa S, Suzuki K, Hakuno F, Takahashi SI, Kataoka N.	4. 巻 10:338.
2. 論文標題 Myelodysplastic Syndrome-Associated SRSF2 Mutations Cause Splicing Changes by Altering Binding Motif Sequences.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Front Genet	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fgene.2019.00338. eCollection 2019	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Mori Minako, Ogawa S., et al.	4. 巻 104
2. 論文標題 Pathogenic mutations identified by a multimodality approach in 117 Japanese Fanconi anemia patients	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Haematologica	6. 最初と最後の頁 1962 ~ 1973
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3324/haematol.2018.207241	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nagao Yuhei, Ogawa S., et al.	4. 巻 33
2. 論文標題 Genetic and transcriptional landscape of plasma cells in POEMS syndrome	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Leukemia	6. 最初と最後の頁 1723 ~ 1735
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41375-018-0348-x	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nagata Yasunobu, Ogawa S., et al.	4. 巻 10
2. 論文標題 Invariant patterns of clonal succession determine specific clinical features of myelodysplastic syndromes	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Nature Communications	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-019-13001-y	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Okano Tsubasa, Ogawa S., et al.	4. 巻 143
2. 論文標題 Hematopoietic stem cell transplantation for progressive combined immunodeficiency and lymphoproliferation in patients with activated phosphatidylinositol-3-OH kinase syndrome type 1	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Allergy and Clinical Immunology	6. 最初と最後の頁 266 ~ 275
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jaci.2018.04.032	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Okuno Yusuke, Ogawa S., et al.	4. 巻 4
2. 論文標題 Defective Epstein-Barr virus in chronic active infection and haematological malignancy	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Nature Microbiology	6. 最初と最後の頁 404 ~ 413
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41564-018-0334-0	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ono Sahoko, Ogawa S., et al.	4. 巻 6
2. 論文標題 Novel neuroblastoma amplified sequence (NBAS) mutations in a Japanese boy with fever-triggered recurrent acute liver failure	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Human Genome Variation	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41439-018-0035-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Polprasert Chantana, Ogawa S., et al.	4. 巻 3
2. 論文標題 Frequent germline mutations of HAVCR2 in sporadic subcutaneous panniculitis-like T-cell lymphoma	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Blood Advances	6. 最初と最後の頁 588 ~ 595
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1182/bloodadvances.2018028340	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Subramanian K, Dierckx T, Khouri R, Menezes SM, Kagdi H, Taylor GP, Farre L, Bittencourt A, Kataoka K, Ogawa S, Van Weyenbergh J.	4. 巻 144(7)
2. 論文標題 Decreased RORC expression and downstream signaling in HTLV-1-associated adult T-cell lymphoma/leukemia uncovers an antiproliferative IL17 link: A potential target for immunotherapy?	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Int J Cancer	6. 最初と最後の頁 1664-1675
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/ijc.31922. Epub 2018 Dec 18	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Takashima Yasuo, Kawaguchi Atsushi, Sato Ryuichi, Yoshida Kenichi, Hayano Azusa, Homma Jumpei, Fukai Junya, Iwadate Yasuo, Kajiwara Koji, Ishizawa Shin, Hondoh Hiroaki, Nakano Masakazu, Ogawa Seishi, Tashiro Kei, Yamanaka Ryuya	4. 巻 9
2. 論文標題 Differential expression of individual transcript variants of PD-1 and PD-L2 genes on Th-1/Th-2 status is guaranteed for prognosis prediction in PCNSL	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-019-46473-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Yabe Miharuru, Koike Takashi, Ohtsubo Keisuke, Imai Eri, Morimoto Tsuyoshi, Takakura Hiromitsu, Koh Katsuyoshi, Yoshida Kenichi, Ogawa Seishi, Ito Etsuro, Okuno Yusuke, Muramatsu Hideki, Kojima Seiji, Matsuo Keitaro, Mori Minako, Hira Asuka, Takata Minoru, Yabe Hiromasa	4. 巻 98
2. 論文標題 Associations of complementation group, ALDH2 genotype, and clonal abnormalities with hematological outcome in Japanese patients with Fanconi anemia	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Annals of Hematology	6. 最初と最後の頁 271 ~ 280
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00277-018-3517-0	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yabe Miharuru, Koike Takashi, Ohtsubo Keisuke, Imai Eri, Morimoto Tsuyoshi, Takakura Hiromitsu, Koh Katsuyoshi, Yoshida Kenichi, Ogawa Seishi, Ito Etsuro, Okuno Yusuke, Muramatsu Hideki, Kojima Seiji, Matsuo Keitaro, Mori Minako, Hira Asuka, Takata Minoru, Yabe Hiromasa	4. 巻 98
2. 論文標題 Associations of complementation group, ALDH2 genotype, and clonal abnormalities with hematological outcome in Japanese patients with Fanconi anemia	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Annals of Hematology	6. 最初と最後の頁 271 ~ 280
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00277-018-3517-0	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Yokoyama Akira, Ogawa S., et al.	4. 巻 565
2. 論文標題 Age-related remodelling of oesophageal epithelia by mutated cancer drivers	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Nature	6. 最初と最後の頁 312 ~ 317
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41586-018-0811-x	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Donovan Frank X., Ogawa S., et al.	4. 巻 41
2. 論文標題 A founder variant in the South Asian population leads to a high prevalence of Fanconi anemia cases in India	FANCL 5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Human Mutation	6. 最初と最後の頁 122 ~ 128
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/humu.23914	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Madan V, Li J, Zhou S, Teoh WW, Han L, Meggendorfer M, Malcovati L, Cazzola M, Ogawa S, Haferlach T, Yang H, Koeffler HP.	4. 巻 95(2)
2. 論文標題 Distinct and convergent consequences of splice factor mutations in myelodysplastic syndromes.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Am J Hematol. 2020	6. 最初と最後の頁 133-143.
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/ajh.25673. Epub 2019 Nov 18	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Polprasert Chantana, Ogawa S., et al.	4. 巻 111
2. 論文標題 Novel DDX41 variants in Thai patients with myeloid neoplasms	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 International Journal of Hematology	6. 最初と最後の頁 241 ~ 246
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s12185-019-02770-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 OGAWA Seishi	4. 巻 96
2. 論文標題 Genetic basis of myelodysplastic syndromes	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Proceedings of the Japan Academy, Series B	6. 最初と最後の頁 107 ~ 121
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2183/pjab.96.009	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Shiba Norio, Ogawa S., et al.	4. 巻 3
2. 論文標題 Transcriptome analysis offers a comprehensive illustration of the genetic background of pediatric acute myeloid leukemia	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Blood Advances	6. 最初と最後の頁 3157 ~ 3169
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1182/bloodadvances.2019000404	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Berger Gerbrig, Gerritsen Mylene, Yi Guoqiang, Koorenhof-Scheele Theresia N., Kroeze Leonie I., Stevens-Kroef Marian, Yoshida Kenichi, Shiraishi Yuichi, van den Berg Eva, Schepers Hein, Huls Geert, Mulder Andr? B., Ogawa Seishi, Martens Joost H. A., Jansen Joop H., Vellenga Edo	4. 巻 3
2. 論文標題 Ring sideroblasts in AML are associated with adverse risk characteristics and have a distinct gene expression pattern	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Blood Advances	6. 最初と最後の頁 3111 ~ 3122
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1182/bloodadvances.2019000518	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Polprasert Chantana, Ogawa S., et al.	4. 巻 111
2. 論文標題 Novel DDX41 variants in Thai patients with myeloid neoplasms	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 International Journal of Hematology	6. 最初と最後の頁 241 ~ 246
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s12185-019-02770-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Mylonas Elena, Ogawa S., et al.	4. 巻 11
2. 論文標題 Single-cell analysis based dissection of clonality in myelofibrosis	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Nature Communications	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-019-13892-x	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Shrestha R, Sakata-Yanagimoto M, Maie K, Oshima M, Ishihara M, Suehara Y, Fukumoto K, Nakajima-Takagi Y, Matsui H, Kato T, Muto H, Sakamoto T, Kusakabe M, Nannya Y, Makishima H, Ueno H, Saiki R, Ogawa S, Chiba K, Shiraishi Y, Miyano S, Mouly E, Bernard OA, Inaba T, Koseki H, Iwama A, Chiba S.	4. 巻 4(5):
2. 論文標題 Molecular pathogenesis of progression to myeloid leukemia from TET-insufficient status.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Blood Adv.	6. 最初と最後の頁 845-854.
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1182/bloodadvances.2019001324.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kimura Shunsuke, Ogawa S., et al.	4. 巻 34
2. 論文標題 DNA methylation-based classification reveals difference between pediatric T-cell acute lymphoblastic leukemia and normal thymocytes	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Leukemia	6. 最初と最後の頁 1163 ~ 1168
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41375-019-0626-2	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Fujioka M, Itonaga H, Kato T, Nannya Y, Hashimoto M, Kasai S, Toriyama E, Kamiyo R, Taguchi M, Taniguchi H, Sato S, Atogami S, Imaizumi Y, Hata T, Moriuchi Y, Ogawa S, Miyazaki Y.	4. 巻 111(2)
2. 論文標題 Persistent clonal cytogenetic abnormality with del(20q) from an initial diagnosis of acute promyelocytic leukemia.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Int J Hematol.	6. 最初と最後の頁 311-316
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s12185-019-02731-w.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kakiuchi N, Ogawa S., et al.	4. 巻 577
2. 論文標題 Frequent mutations that converge on the NFKBIZ pathway in ulcerative colitis	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Nature	6. 最初と最後の頁 260-265
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41586-019-1856-1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Chonabayashi Kazuhisa, Yoshida Yoshinori, Kitawaki Toshio, Nannya Yasuhito, Nakamura Momoko, Oshima Shinichiro, Hishizawa Masakatsu, Yamashita Kouhei, Ogawa Seishi, Takaori-Kondo Akifumi	4. 巻 98
2. 論文標題 Acute myeloid leukemia with a cryptic NUP98/PRRX2 rearrangement developing after low-dose methotrexate therapy for rheumatoid arthritis	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Annals of Hematology	6. 最初と最後の頁 2841 ~ 2843
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00277-019-03838-0	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Watatani Yosaku, Ogawa S., et al.	4. 巻 33
2. 論文標題 Molecular heterogeneity in peripheral T-cell lymphoma, not otherwise specified revealed by comprehensive genetic profiling	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Leukemia	6. 最初と最後の頁 2867 ~ 2883
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41375-019-0473-1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Gu M, Zwiebel M, Ong SH, Boughton N, Nomdedeu J, Basheer F, Nannya Y, Quiros PM, Ogawa S, Cazzola M, Rad R, Butler AP, Vijayabaskar MS, Vassiliou G.	4. 巻 -
2. 論文標題 RNAmut: robust identification of somatic mutations in acute myeloid leukemia using RNA-seq.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Haematologica	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3324/haematol.2019.230821.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Taguchi Masataka, Ogawa S., et al.	4. 巻 105
2. 論文標題 Genome analysis of myelodysplastic syndromes among atomic bomb survivors in Nagasaki	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Haematologica	6. 最初と最後の頁 358 ~ 365
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) -	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Cao-Sy Luan, Obara Naoshi, Sakamoto Tatsuhiro, Kato Takayasu, Hattori Keiichiro, Sakashita Shingo, Nannya Yasuhito, Ogawa Seishi, Harada Hironori, Sakata-Yanagimoto Mamiko, Nishikii Hidekazu, Chiba Shigeru	4. 巻 109
2. 論文標題 Prominence of nestin-expressing Schwann cells in bone marrow of patients with myelodysplastic syndromes with severe fibrosis	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 International Journal of Hematology	6. 最初と最後の頁 309 ~ 318
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s12185-018-02576-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Hamada M, Doisaki S, Okuno Y, Muramatsu H, Hama A, Kawashima N, Narita A, Nishio N, Yoshida K, Kanno H, Manabe A, Taga T, Takahashi Y, Miyano S, Ogawa S, Kojima S.	4. 巻 108
2. 論文標題 Whole-exome analysis to detect congenital hemolytic anemia mimicking congenital dyserythropoietic anemia.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Int J Hematol.	6. 最初と最後の頁 306-311
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s12185-018-2482-7.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Cardinez C, Miraghazadeh B, Tanita K, da Silva E, Hoshino A, Okada S, Chand R, Asano T, Tsumura M, Yoshida K, Ohnishi H, Kato Z, Yamazaki M, Okuno Y, Miyano S, Kojima S, Ogawa S, Andrews TD, Field MA, Burgio G, Morio T, Vinuesa CG, Kanegane H, Cook MC.	4. 巻 215
2. 論文標題 Gain-of-function IKBKB mutation causes human combined immune deficiency.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 J Exp Med.	6. 最初と最後の頁 2715-2724.
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1084/jem.20180639.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Aoki K, Nakamura H, Suzuki H, Matsuo K, Kataoka K, Shimamura T, Motomura K, Ohka F, Shiina S, Yamamoto T, Nagata Y, Yoshizato T, Mizoguchi M, Abe T, Momii Y, Muragaki Y, Watanabe R, Ito I, Sanada M, Yajima H, Morita N, Takeuchi I, Miyano S, Wakabayashi T, Ogawa S, Natsume A.	4. 巻 20
2. 論文標題 Prognostic relevance of genetic alterations in diffuse lower-grade gliomas.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Neuro Oncol.	6. 最初と最後の頁 66-67
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/neuonc/nox132.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kamijo R, Itonaga H, Kihara R, Nagata Y, Hata T, Asou N, Ohtake S, Shiraishi Y, Chiba K, Tanaka H, Miyano S, Ogawa S, Naoe T, Kiyoi H, Miyazaki Y.	4. 巻 65
2. 論文標題 Distinct gene alterations with a high percentage of myeloperoxidase-positive leukemic blasts in de novo acute myeloid leukemia.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Leuk Res.	6. 最初と最後の頁 34-41.
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.leukres.2017.12.006	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Itoh H, Ogawa S., et al.	4. 巻 41
2. 論文標題 Intensive Treat-to-Target Statin Therapy in High-Risk Japanese Patients With Hypercholesterolemia and Diabetic Retinopathy: Report of a Randomized Study.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Diabetes Care.	6. 最初と最後の頁 1275-1284.
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2337/dc17-2224.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hoshino A, Takashima T, Yoshida K, Morimoto A, Kawahara Y, Yeh TW, Okano T, Yamashita M, Mitsui N, Imai K, Sakatani T, Nakazawa A, Okuno Y, Shiraishi Y, Chiba K, Tanaka H, Miyano S, Ogawa S, Kojima S, Morio T, Kanegane H.	4. 巻 218
2. 論文標題 Dysregulation of Epstein-Barr Virus Infection in Hypomorphic ZAP70 Mutation.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 J Infect Dis.	6. 最初と最後の頁 825-834.
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/infdis/jiy231.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yamato G, Shiba N, Yoshida K, Hara Y, Shiraishi Y, Ohki K, Okubo J, Park MJ, Sotomatsu M, Arakawa H, Kiyokawa N, Tomizawa D, Adachi S, Taga T, Horibe K, Miyano S, Ogawa S, Hayashi Y.	4. 巻 131
2. 論文標題 RUNX1 mutations in pediatric acute myeloid leukemia are associated with distinct genetic features and an inferior prognosis.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Blood.	6. 最初と最後の頁 2266-2270.
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1182/blood-2017-11-814442.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Toki T, Ogawa S., et al.	4. 巻 103
2. 論文標題 De Novo Mutations Activating Germline TP53 in an Inherited Bone-Marrow-Failure Syndrome.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Am J Hum Genet.	6. 最初と最後の頁 440-447
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ajhg.2018.07.020.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Takagi M, Hoshino A, Yoshida K, Ueno H, Imai K, Piao J, Kanegane H, Yamashita M, Okano T, Muramatsu H, Okuno Y, Shiraishi Y, Chiba K, Tanaka H, Miyano S, Ogawa S, Hayashi Y, Kojima S, Morio T.	4. 巻 65
2. 論文標題 Genetic heterogeneity of uncharacterized childhood autoimmune diseases with lymphoproliferation.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Pediatr Blood Cancer.	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/pbc.26831.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Shiraishi Y, Kataoka K, Chiba K, Okada A, Kogure Y, Tanaka H, Ogawa S, Miyano S.	4. 巻 28
2. 論文標題 A comprehensive characterization of cis-acting splicing-associated variants in human cancer.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Genome Res.	6. 最初と最後の頁 1111-1125.
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1101/gr.231951.117.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sakai H, Hosono N, Nakazawa H, Przychodzen B, Polprasert C, Carraway HE, Sekeres MA, Radivoyevitch T, Yoshida K, Sanada M, Yoshizato T, Kataoka K, Nakagawa MM, Ueno H, Nannya Y, Kon A, Shiozawa Y, Takeda J, Shiraishi Y, Chiba K, Miyano S, Singh J, Padgett RA, Ogawa S, Maciejewski JP, Makishima H.	4. 巻 32
2. 論文標題 A novel genetic and morphologic phenotype of ARID2-mediated myelodysplasia.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Leukemia.	6. 最初と最後の頁 839-843
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/leu.2017.319.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Murakami N, Okuno Y, Yoshida K, Shiraishi Y, Nagae G, Suzuki K, Narita A, Sakaguchi H, Kawashima N, Wang X, Xu Y, Chiba K, Tanaka H, Hama A, Sanada M, Ito M, Hirayama M, Watanabe A, Ueno T, Kojima S, Aburatani H, Mano H, Miyano S, Ogawa S, Takahashi Y, Muramatsu H.	4. 巻 131
2. 論文標題 Integrated molecular profiling of juvenile myelomonocytic leukemia.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Blood.	6. 最初と最後の頁 1576-1586
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1182/blood-2017-07-798157	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Matsuo H, Ogawa S., et al.	4. 巻 2
2. 論文標題 Recurrent CCND3 mutations in MLL-rearranged acute myeloid leukemia.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Blood Adv.	6. 最初と最後の頁 2879-2889.
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1182/bloodadvances.2018019398.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kataoka K, Ogawa S., et al.	4. 巻 131
2. 論文標題 Prognostic relevance of integrated genetic profiling in adult T-cell leukemia/lymphoma.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Blood.	6. 最初と最後の頁 215-225.
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1182/blood-2017-01-761874	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Katagiri S, Umezumi T, Azuma K, Asano M, Akahane D, Makishima H, Yoshida K, Watatani Y, Chiba K, Miyano S, Ogawa S, Ohyashiki JH, Ohyashiki K.	4. 巻 59
2. 論文標題 Hidden FLT3-D835Y clone in FLT3-ITD-positive acute myeloid leukemia that evolved into very late relapse with T-lymphoblastic leukemia.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Leuk Lymphoma.	6. 最初と最後の頁 1490-1493.
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/10428194.2017.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hoshino A, Yang X, Tanita K, Yoshida K, Ono T, Nishida N, Okuno Y, Kanzaki T, Goi K, Fujino H, Ohshima K, Shiraishi Y, Chiba K, Tanaka H, Miyano S, Ogawa S, Kojima S, Morio T, Kanegane H.	4. 巻 143
2. 論文標題 Modification of cellular and humoral immunity by somatically reverted T cells in X-linked lymphoproliferative syndrome type 1.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J Allergy Clin Immunol.	6. 最初と最後の頁 421-424 e411.
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jaci.2018.07.044.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Adachi M, Yoshida K, Shiraishi Y, Chiba K, Miyano S, Ogawa S.	4. 巻 60
2. 論文標題 [Successful treatment of pure red cell aplasia with cyclosporin in a patient with T-cell large granular lymphocytic leukemia harboring the STAT3 D661V mutation]	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Rinsho Ketsueki.	6. 最初と最後の頁 39-45.
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11406/rinketsu.60.39.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Mori M, Hira A, Yoshida K, Muramatsu H, Okuno Y, Shiraishi Y, Anmae M, Yasuda J, Tadaka S, Kinoshita K, Osumi T, Noguchi Y, Adachi S, Kobayashi R, Kawabata H, Imai K, Morio T, Tamura K, Takaori-Kondo A, Yamamoto M, Miyano S, Kojima S, Ito E, Ogawa S, Matsuo K, Yabe H, Yabe M, Takata M.	4. 巻 -
2. 論文標題 Pathogenic mutations identified by a multimodality approach in 117 Japanese Fanconi anemia patients.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Haematologica.	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3324/haematol.2018.207241.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kimura S, Seki M, Yoshida K, Shiraishi Y, Akiyama M, Koh K, Imamura T, Manabe A, Hayashi Y, Kobayashi M, Oka A, Miyano S, Ogawa S, Takita J.	4. 巻 110
2. 論文標題 NOTCH1 pathway activating mutations and clonal evolution in pediatric T-cell acute lymphoblastic leukemia.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Cancer Sci.	6. 最初と最後の頁 784-794
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cas.13859	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kimura S, Hasegawa D, Yoshimoto Y, Seki M, Daida A, Sekiguchi M, Hirabayashi S, Hosoya Y, Kobayashi M, Miyano S, Ogawa S, Takita J, Manabe A.	4. 巻 17
2. 論文標題 Duplication of ALK F1245 missense mutation due to acquired uniparental disomy associated with aggressive progression in a patient with relapsed neuroblastoma.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Oncol Lett.	6. 最初と最後の頁 3323-3329
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3892/ol.2019.9985	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kim SK, Takeda H, Takai A, Matsumoto T, Kakiuchi N, Yokoyama A, Yoshida K, Kaido T, Uemoto S, Minamiguchi S, Haga H, Shiraishi Y, Miyano S, Seno H, Ogawa S, Marusawa H.	4. 巻 -
2. 論文標題 Comprehensive analysis of genetic aberrations linked to tumorigenesis in regenerative nodules of liver cirrhosis.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J Gastroenterol.	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00535-019-01555-z.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nagao Y, Ogawa S., et al.	4. 巻 -
2. 論文標題 Genetic and transcriptional landscape of plasma cells in POEMS syndrome.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Leukemia.	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41375-018-0348-x.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ono S, Matsuda J, Watanabe E, Akaike H, Teranishi H, Miyata I, Otomo T, Sadahira Y, Mizuochi T, Kusano H, Kage M, Ueno H, Yoshida K, Shiraishi Y, Chiba K, Tanaka H, Miyano S, Ogawa S, Hayashi Y, Kanegane H, Ouchi K.	4. 巻 7
2. 論文標題 Novel neuroblastoma amplified sequence (NBAS) mutations in a Japanese boy with fever-triggered recurrent acute liver failure.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Hum Genome Var.	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41439-018-0035-5.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Okuno Y, Ogawa S., et al.	4. 巻 4(3)
2. 論文標題 Defective Epstein-Barr virus in chronic active infection and haematological malignancy.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Nat Microbiol.	6. 最初と最後の頁 544
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41564-019-0387-8.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ochi Y, Hiramoto N, Yoshizato T, Ono Y, Takeda J, Shiozawa Y, Yoshida K, Kakiuchi N, Shiraishi Y, Tanaka H, Chiba K, Kazuma Y, Tabata S, Yonetani N, Uehara K, Yamashita D, Imai Y, Nagafuji K, Yamakawa M, Miyano S, Takaori-Kondo A, Ogawa S, Ishikawa T.	4. 巻 103
2. 論文標題 Clonally related diffuse large B-cell lymphoma and interdigitating dendritic cell sarcoma sharing MYC translocation.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Haematologica	6. 最初と最後の頁 e553-e556
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3324/haematol.2018.193490.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Katagiri S, Umezū T, Azuma K, Asano M, Akahane D, Makishima H, Yoshida K, Watatani Y, Chiba K, Miyano S, Ogawa S, Ohyashiki JH, Ohyashiki K	4. 巻 59
2. 論文標題 Hidden FLT3-D835Y clone in FLT3-ITD-positive acute myeloid leukemia that evolved into very late relapse with T-lymphoblastic leukemia.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Leuk Lymphoma	6. 最初と最後の頁 1490-1493
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/10428194.2017.1382696	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Saito T, Ogawa S., et al.	4. 巻 9
2. 論文標題 A temporal shift of the evolutionary principle shaping intratumor heterogeneity in colorectal cancer.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Nat Commun.	6. 最初と最後の頁 2884
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-018-05226-0	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kataoka K, Ogawa S., et al.	4. 巻 -
2. 論文標題 Frequent structural variations involving programmed death ligands in Epstein-Barr virus-associated lymphomas.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Leukemia	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41375-019-0380-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Shiozawa Y, Malcovati L, Gall A, Sato-Otsubo A, Kataoka K, Sato Y, Watatani Y, Suzuki H, Yoshizato T, Yoshida K, Sanada M, Makishima H, Shiraiishi Y, Chiba K, Hellstrom-Lindberg E, Miyano S, Ogawa S, Cazzola M	4. 巻 9
2. 論文標題 Aberrant splicing and defective mRNA production induced by somatic spliceosome mutations in myelodysplasia.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Nat. Commun.	6. 最初と最後の頁 3649
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-018-06063-x	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kobayashi K, Mizuta S, Yamane N, Ueno H, Yoshida K, Kato I, Umeda K, Hiramatsu H, Suehiro M, Maihara T, Usami I, Shiraishi Y, Chiba K, Miyano S, Adachi S, Ogawa S, Kiyokawa N, Heike T	4. 巻 66
2. 論文標題 Paraneoplastic hypereosinophilic syndrome associated with IL3-IgH positive acute lymphoblastic leukemia	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Pediatr Blood Cancer	6. 最初と最後の頁 e27499
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Berger G, Ogawa S., et al.	4. 巻 131
2. 論文標題 Early detection and evolution of preleukemic clones in therapy-related myeloid neoplasms following autologous SCT	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Blood	6. 最初と最後の頁 1846-1857
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1182/blood-2017-09-805879	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Polprasert C, Takeuchi Y, Kakiuchi N, Yoshida K, Assanasen T, Sitthi W, Bunworasate U, Pirunsarn A, Wudhikarn K, Lawasut P, Uaprasert N, Kongkiatkamon S, Moonla C, Sanada M, Akita N, Takeda J, Fujii Y, Suzuki H, Nannya Y, Shiraishi Y, Chiba K, Tanaka H, Miyano S, Rojnuckarin P, Ogawa S, Makishima H	4. 巻 3
2. 論文標題 Frequent germline mutations of HAVCR2 in sporadic subcutaneous panniculitis-like T-cell lymphoma.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Blood Adv.	6. 最初と最後の頁 588-595
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1182/bloodadvances.2018028340	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 10.1038/s41375-018-0253-3	4. 巻 33
2. 論文標題 Molecular pathogenesis of disease progression in MLL-rearranged AML.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Leukemia	6. 最初と最後の頁 612-614
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41375-018-0253-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 "Matsuo H, Ogawa S., et al.	4. 巻 13
2. 論文標題 Recurrent CCND3 mutations in MLL-rearranged acute myeloid leukemia.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Blood Adv.	6. 最初と最後の頁 2879-2889
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1182/bloodadvances.2018019398	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Chien W., Sun Q. Y., Ding L. W., Mayakonda A., Takao S., Liu L., Lim S. L., Tan K. T., Garg M., De Sousa Maria Varela A., Xiao J., Jacob N., Behrens K., Stocking C., Lill M., Madan V., Hattori N., Gery S., Ogawa S., Wakita S., Ikezoe T., Shih L. Y., Alpermann T., Haferlach T., Yang H., Koefler H. P.	4. 巻 31
2. 論文標題 Diagnosis and relapse: cytogenetically normal acute myelogenous leukemia without FLT3-ITD or MLL-PTD	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Leukemia	6. 最初と最後の頁 762-766
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/leu.2016.343	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 da Silva-Coelho P, et al.	4. 巻 8
2. 論文標題 Clonal evolution in myelodysplastic syndromes	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Nature communications	6. 最初と最後の頁 15099
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/ncomms15099	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Ding L. W., Sun Q. Y., et al.	4. 巻 77
2. 論文標題 Mutational Landscape of Pediatric Acute Lymphoblastic Leukemia	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Cancer research	6. 最初と最後の頁 390-400
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1158/0008-5472.CAN-16-1303	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Fujisawa M., Sakata-Yanagimoto M., Nishizawa S., Komori D., Gershon P., Kiryu M., Tanzima S., Fukumoto K., Enami T., Muratani M., Yoshida K., Ogawa S., Matsue K., Nakamura N., Takeuchi K., Izutsu K., Fujimoto K., Teshima T., Miyoshi H., Gaulard P., Ohshima K., Chiba S.	4. 巻 32
2. 論文標題 Activation of RHOA-VAV1 signaling in angioimmunoblastic T-cell lymphoma	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Leukemia	6. 最初と最後の頁 694-702
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/leu.2017.273	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Gong X., Siprashvili Z., Eminaga O., Shen Z., Sato Y., Kume H., Homma Y., Ogawa S., Khavari P. A., Pollack J. R., Brooks J. D.	4. 巻 8
2. 論文標題 Novel lincRNA SLINKY is a prognostic biomarker in kidney cancer	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Oncotarget	6. 最初と最後の頁 18657-18669
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18632/oncotarget.15703	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Hirabayashi S., Seki M., Hasegawa D., Kato M., Hyakuna N., Shuo T., Kimura S., Yoshida K., Kataoka K., Fujii Y., Shiraishi Y., Chiba K., Tanaka H., Kiyokawa N., Miyano S., Ogawa S., Takita J., Manabe A.	4. 巻 64
2. 論文標題 Constitutional abnormalities of IDH1 combined with secondary mutations predispose a patient with Maffucci syndrome to acute lymphoblastic leukemia	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Pediatr Blood Cancer	6. 最初と最後の頁 e26647
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/pbc.26647	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Hiwatari M., Seki M., Akahoshi S., Yoshida K., Miyano S., Shiraishi Y., Tanaka H., Chiba K., Ogawa S., Takita J.	4. 巻 14
2. 論文標題 Molecular studies reveal MLL-MLLT10/AF10 and ARID5B-MLL gene fusions displaced in a case of infantile acute lymphoblastic leukemia with complex karyotype	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Oncol Lett	6. 最初と最後の頁 2295-2299
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3892/ol.2017.6430	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hosono N., Makishima H., Mahfouz R., Przychodzen B., Yoshida K., Jerez A., LaFramboise T., Polprasert C., Clemente M. J., Shiraishi Y., Chiba K., Tanaka H., Miyano S., Sanada M., Cui E., Verma A. K., McDevitt M. A., List A. F., Sauntharajah Y., Sekeres M. A., Boulwood J., Ogawa S., Maciejewski J. P.	4. 巻 8
2. 論文標題 Recurrent genetic defects on chromosome 5q in myeloid neoplasms	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Oncotarget	6. 最初と最後の頁 6483-6495
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18632/oncotarget.14130	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kato I., Nishinaka Y., Nakamura M., Akarca A. U., Niwa A., Ozawa H., Yoshida K., Mori M., Wang D., Morita M., Ueno H., Shiozawa Y., Shiraishi Y., Miyano S., Gupta R., Umeda K., Watanabe K., Koh K., Adachi S., Heike T., Saito M. K., Sanada M., Ogawa S., Marafioti T., Watanabe A., Nakahata T., Enver T.	4. 巻 129
2. 論文標題 Hypoxic adaptation of leukemic cells infiltrating the CNS affords a therapeutic strategy targeting VEGFA	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Blood	6. 最初と最後の頁 3126-3129
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1182/blood-2016-06-721712	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Kato M., et al.	4. 巻 31
2. 論文標題 Long-term outcome of 6-month maintenance chemotherapy for acute lymphoblastic leukemia in children	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Leukemia	6. 最初と最後の頁 580-584
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/leu.2016.274	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Makishima H., et al.	4. 巻 49
2. 論文標題 Dynamics of clonal evolution in myelodysplastic syndromes	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Nature genetics	6. 最初と最後の頁 204-212
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/ng.3742	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Malcovati L., Galli A., Travaglino E., Ambaglio I., Rizzo E., Molteni E., Elena C., Ferretti V. V., Catricala S., Bono E., Todisco G., Bianchessi A., Rumi E., Zibellini S., Pietra D., Boveri E., Camaschella C., Toniolo D., Papaemmanuil E., Ogawa S., Cazzola M.	4. 巻 129
2. 論文標題 Clinical significance of somatic mutation in unexplained blood cytopenia	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Blood	6. 最初と最後の頁 3371-3378
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1182/blood-2017-01-763425	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Nadeau S. A., An W., Mohapatra B. C., Mushtaq I., Bielecki T. A., Luan H., Zutshi N., Ahmad G., Storck M. D., Sanada M., Ogawa S., Band V., Band H.	4. 巻 292
2. 論文標題 Structural Determinants of the Gain-of-Function Phenotype of Human Leukemia-associated Mutant CBL Oncogene	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 J Biol Chem	6. 最初と最後の頁 3666-3682
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1074/jbc.M116.772723	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Nakata Y., Ueda T., Nagamachi A., Yamasaki N., Ikeda K. I., Sera Y., Takubo K., Kanai A., Oda H., Sanada M., Ogawa S., Tsuji K., Ebihara Y., Wolff L., Honda Z. I., Suda T., Inaba T., Honda H.	4. 巻 129
2. 論文標題 Acquired expression of CblQ367P in mice induces dysplastic myelopoiesis mimicking chronic myelomonocytic leukemia	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Blood	6. 最初と最後の頁 2148-2160
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nguyen T. B., Sakata-Yanagimoto M., Asabe Y., Matsubara D., Kano J., Yoshida K., Shiraishi Y., Chiba K., Tanaka H., Miyano S., Izutsu K., Nakamura N., Takeuchi K., Miyoshi H., Ohshima K., Minowa T., Ogawa S., Noguchi M., Chiba S.	4. 巻 7
2. 論文標題 Identification of cell-type-specific mutations in nodal T-cell lymphomas	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Blood cancer journal	6. 最初と最後の頁 e516
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/bcj.2016.122	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nishizawa S., Sakata-Yanagimoto M., Hattori K., Muto H., Nguyen T., Izutsu K., Yoshida K., Ogawa S., Nakamura N., Chiba S.	4. 巻 105
2. 論文標題 BCL6 locus is hypermethylated in angioimmunoblastic T-cell lymphoma	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 International journal of hematology	6. 最初と最後の頁 465-8211;469
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s12185-016-2159-z	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Osumi T., Kato M., Ouchi-Uchiyama M., Tomizawa D., Kataoka K., Fujii Y., Seki M., Takita J., Ogawa S., Uchiyama T., Ohki K., Kiyokawa N.	4. 巻 64
2. 論文標題 Blastic transformation of juvenile myelomonocytic leukemia caused by the copy number gain of oncogenic KRAS	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Pediatr Blood Cancer	6. 最初と最後の頁 e26496
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/pbc.26469	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Patel B. J., Przychodzen B., Thota S., Radivoyevitch T., Visconte V., Kuzmanovic T., Clemente M., Hirsch C., Morawski A., Souaid R., Saygin C., Nazha A., Demarest B., LaFramboise T., Sakaguchi H., Kojima S., Carraway H. E., Ogawa S., Makishima H., Sekeres M. A., Maciejewski J. P.	4. 巻 31
2. 論文標題 Genomic determinants of chronic myelomonocytic leukemia	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Leukemia	6. 最初と最後の頁 2815-8211;2823
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/leu.2017.164	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Seki M., et al.	4. 巻 49
2. 論文標題 Recurrent SPI1 (PU.1) fusions in high-risk pediatric T cell acute lymphoblastic leukemia	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Nature genetics	6. 最初と最後の頁 1274-1281
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/ng.3900	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Shiraki Y., Mii S., Enomoto A., Momota H., Han Y. P., Kato T., Ushida K., Kato A., Asai N., Murakumo Y., Aoki K., Suzuki H., Ohka F., Wakabayashi T., Todo T., Ogawa S., Natsume A., Takahashi M.	4. 巻 243
2. 論文標題 Significance of perivascular tumour cells defined by CD109 expression in progression of glioma	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 J Pathol	6. 最初と最後の頁 468-480
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/path.4981	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Sun Q. Y., et al.	4. 巻 31
2. 論文標題 Ordering of mutations in acute myeloid leukemia with partial tandem duplication of MLL (MLL-PTD)	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Leukemia	6. 最初と最後の頁 1-8211;10
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/leu.2016.160	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Takada M., Nagai S., Haruta M., Sugino R. P., Tozuka K., Takei H., Ohkubo F., Inoue K., Kurosumi M., Miyazaki M., Sato-Otsubo A., Sato Y., Ogawa S., Kaneko Y.	4. 巻 56
2. 論文標題 BRCA1 alterations with additional defects in DNA damage response genes may confer chemoresistance to BRCA-like breast cancers treated with neoadjuvant chemotherapy	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Genes Chromosomes Cancer	6. 最初と最後の頁 405-420
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Takeda Y., Kataoka K., Yamagishi J., Ogawa S., Seya T., Matsumoto M.	4. 巻 19
2. 論文標題 A TLR3-Specific Adjuvant Relieves Innate Resistance to PD-L1 Blockade without Cytokine Toxicity in Tumor Vaccine Immunotherapy	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Cell Rep	6. 最初と最後の頁 1874-8211;1887
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.celrep.2017.05.015	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Togasaki E., et al.	4. 巻 7
2. 論文標題 Frequent somatic mutations in epigenetic regulators in newly diagnosed chronic myeloid leukemia	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Blood cancer journal	6. 最初と最後の頁 e559
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/bcj.2017.36	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Xie J., Lin D., Lee D. H., Akunowicz J., Hansen M., Miller C., Sanada M., Kato M., Akagi T., Kawamata N., Ogawa S., Koeffler H. P.	4. 巻 50
2. 論文標題 Copy number analysis identifies tumor suppressive lncRNAs in human osteosarcoma	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Int J Oncol	6. 最初と最後の頁 863-872
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3892/ijo.2017.3864	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Yamato G., Shiba N., Yoshida K., Shiraishi Y., Hara Y., Ohki K., Okubo J., Okuno H., Chiba K., Tanaka H., Kinoshita A., Moritake H., Kiyokawa N., Tomizawa D., Park M. J., Sotomatsu M., Taga T., Adachi S., Tawa A., Horibe K., Arakawa H., Miyano S., Ogawa S., Hayashi Y.	4. 巻 56
2. 論文標題 ASXL2 mutations are frequently found in pediatric AML patients with t(8;21)/ RUNX1-RUNX1T1 and associated with a better prognosis	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Genes Chromosomes Cancer	6. 最初と最後の頁 382-393
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/gcc.22443	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yip B. H., Steeples V., Repapi E., Armstrong R. N., Llorian M., Roy S., Shaw J., Dolatshad H., Taylor S., Verma A., Bartenstein M., Vyas P., Cross N. C., Malcovati L., Cazzola M., Hellstrom-Lindberg E., Ogawa S., Smith C. W., Pellagatti A., Boulwood J.	4. 巻 127
2. 論文標題 The U2AF1S34F mutation induces lineage-specific splicing alterations in myelodysplastic syndromes	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 The Journal of clinical investigation	6. 最初と最後の頁 2206-2221
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1172/JCI91363	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Yoshida M., Hamanoue S., Seki M., Tanaka M., Yoshida K., Goto H., Ogawa S., Takita J., Tanaka Y.	4. 巻 61
2. 論文標題 Metachronous anaplastic sarcoma of the kidney and thyroid follicular carcinoma as manifestations of DICER1 abnormalities	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Human pathology	6. 最初と最後の頁 205-209
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.humpath.2016.06.024	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yoshizato T., et al.	4. 巻 129
2. 論文標題 Genetic abnormalities in myelodysplasia and secondary acute myeloid leukemia: impact on outcome of stem cell transplantation	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Blood	6. 最初と最後の頁 2347-2358
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1182/blood-2016-12-754796	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Negoro E., Nagata Y., Clemente MJ., Hosono N., Shen W., Nazha A., Yoshizato T., Hirsch C., Przychodzen B., Mahfouz RZ., Kuzmanovic T., Sekeres MA., Makishima H., Ogawa S., Maciejewski JP.	4. 巻 130
2. 論文標題 Origins of myelodysplastic syndromes after aplastic anemia.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Blood	6. 最初と最後の頁 1953-1957
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1182/blood-2017-02-767731	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Makishima H, et al.	4. 巻 49
2. 論文標題 Dynamics of clonal evolution in myelodysplastic syndromes.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Nat Genet.	6. 最初と最後の頁 204-212
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/ng.3742	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Hosono N, Makishima H, Mahfouz R, Przychodzen B, Yoshida K, Jerez A, LaFramboise T, Polprasert C, Clemente MJ, Shiraishi Y, Chiba K, Tanaka H, Miyano S, Sanada M, Cui E, Verma AK, McDevitt MA, List AF, Saunthararajah Y, Sekeres MA, Boulwood J, Ogawa S, Maciejewski JP.	4. 巻 8
2. 論文標題 Recurrent genetic defects on chromosome 5q in myeloid neoplasms.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Oncotarget.	6. 最初と最後の頁 6483-6495
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18632/oncotarget.14130	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Yoshida M, Hamanoue S, Seki M, Tanaka M, Yoshida K, Goto H, Ogawa S, Takita J, Tanaka Y.	4. 巻 -
2. 論文標題 Metachronous anaplastic sarcoma of the kidney and thyroid follicular carcinoma as manifestations of DICER1 abnormalities.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Hum Pathol.	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.humpath.2016.06.024.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yamato G, Shiba N, Yoshida K, Shiraishi Y, Hara Y, Ohki K, Okubo J, Okuno H, Chiba K, Tanaka H, Kinoshita A, Moritake H, Kiyokawa N, Tomizawa D, Park MJ, Sotomatsu M, Taga T, Adachi S, Tawa A, Horibe K, Arakawa H, Miyano S, Ogawa S, Hayashi Y.	4. 巻 -
2. 論文標題 ASXL2 Mutations are Frequently Found in Pediatric AML Patients with t(8;21)/RUNX1-RUNX1T1 and Associated with a Better Prognosis.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Genes Chromosomes Cancer.	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/gcc.22443.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Takagi M, Ogata S, Ueno H, Yoshida K, Yeh T, Hoshino A, Piao J, Yamashita M, Nanya M, Okano T, Kajiwara M, Kanegane H, Muramatsu H, Okuno Y, Shiraishi Y, Chiba K, Tanaka H, Bando Y, Kato M, Hayashi Y, Miyano S, Imai K, Ogawa S, Kojima S, Morio T.	4. 巻 -
2. 論文標題 Haploinsufficiency of TNFAIP3 (A20) by germline mutation is involved in autoimmune lymphoproliferative syndrome.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 J Allergy Clin Immunol.	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jaci.2016.09.038.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Takada M, Nagai S, Haruta M, Sugino RP, Tozuka K, Takei H, Ohkubo F, Inoue K, Kurosumi M, Miyazaki M, Sato-Otsubo A, Sato Y, Ogawa S, Kaneko Y.	4. 巻 -
2. 論文標題 BRCA1 Alterations with Additional Defects in DNA Damage Response Genes May Confer Chemoresistance to BRCA-like Breast Cancers Treated with Neoadjuvant Chemotherapy.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Genes Chromosomes Cancer.	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/gcc.22445	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sun QY, Ding LW, Tan KT, Chien W, Mayakonda A, Lin DC, Loh XY, Xiao JF, Meggendorfer M, Alpermann T, Garg M, Lim SL, Madan V, Hattori N, Nagata Y, Miyano S, Yeoh AE, Hou HA, Jiang YY, Takao S, Liu LZ, Tan SZ, Lill M, Hayashi M, Kinoshita A, Kantarjian HM, Kornblau SM, Ogawa S, Haferlach T, Yang H, Koeffler HP.	4. 巻 31
2. 論文標題 Ordering of mutations in acute myeloid leukemia with partial tandem duplication of MLL (MLL-PTD).	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Leukemia.	6. 最初と最後の頁 1-10
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/leu.2016.160.	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Ohta S, Isojima T, Mizuno Y, Kato M, Mimaki M, Seki M, Sato Y, Ogawa S, Takita J, Kitanaka S, Oka A.	4. 巻 59
2. 論文標題 Partial monosomy of 10p and duplication of another chromosome in two patients.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Pediatr Int.	6. 最初と最後の頁 99-102
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ped.13181.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nishizawa S, Sakata-Yanagimoto M, Hattori K, Muto H, Nguyen T, Izutsu K, Yoshida K, Ogawa S, Nakamura N, Chiba S.	4. 巻 -
2. 論文標題 BCL6 locus is hypermethylated in angioimmunoblastic T-cell lymphoma.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Int J Hematol.	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s12185-016-2159-z.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nadeau SA, An W, Mohapatra BC, Mushtaq I, Bielecki TA, Luan H, Zutshi N, Ahmad G, Storck MD, Sanada M, Ogawa S, Band V, Band H.	4. 巻 -
2. 論文標題 Structural Determinants of the Gain-of-Function Phenotype of Human Leukemia-associated Mutant CBL Oncogene.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 J Biol Chem.	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Muramatsu H, Okuno Y, Yoshida K, Shiraishi Y, Doisaki S, Narita A, Sakaguchi H, Kawashima N, Wang X, Xu Y, Chiba K, Tanaka H, Hama A, Sanada M, Takahashi Y, Kanno H, Yamaguchi H, Ohga S, Manabe A, Harigae H, Kunishima S, Ishii E, Kobayashi M, Koike K, Watanabe K, Ito E, Takata M, Yabe M, Ogawa S, Miyano S, Kojima S.	4. 巻 -
2. 論文標題 Clinical utility of next-generation sequencing for inherited bone marrow failure syndromes.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Genet Med.	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/gim.2016.197.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ikeda F, Yoshida K, Toki T, Uechi T, Ishida S, Nakajima Y, Sasahara Y, Okuno Y, Kanazaki R, Terui K, Kamio T, Kobayashi A, Fujita T, Sato-Otsubo A, Shiraishi Y, Tanaka H, Chiba K, Muramatsu H, Kanno H, Ohga S, Ohara A, Kojima S, Kenmochi N, Miyano S, Ogawa S, Ito E.	4. 巻 -
2. 論文標題 Exome sequencing identified RPS15A as a novel causative gene for Diamond-Blackfan anemia.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Haematologica.	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3324/haematol.2016.153932.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ichimura T, Yoshida K, Okuno Y, Yujiri T, Nagai K, Nishi M, Shiraishi Y, Ueno H, Toki T, Chiba K, Tanaka H, Muramatsu H, Hara T, Kanno H, Kojima S, Miyano S, Ito E, Ogawa S, Ohga S.	4. 巻 -
2. 論文標題 Diagnostic challenge of Diamond-Blackfan anemia in mothers and children by whole-exome sequencing.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Int J Hematol.	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3324/haematol.2016.153932.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hoshino A, Okada S, Yoshida K, Nishida N, Okuno Y, Ueno H, Yamashita M, Okano T, Tsumura M, Nishimura S, Sakata S, Kobayashi M, Nakamura H, Kamizono J, Mitsui-Sekinaka K, Ichimura T, Ohga S, Nakazawa Y, Takagi M, Imai K, Shiraishi Y, Chiba K, Tanaka H, Miyano S, Ogawa S, Kojima S, Nonoyama S, Morio T, Kanegane H.	4. 巻 -
2. 論文標題 Abnormal hematopoiesis and autoimmunity in human subjects with germline IKZF1 mutations.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 J Allergy Clin Immunol.	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jaci.2016.09.029.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ding LW, Sun QY, Tan KT, Chien W, Thippeswamy AM, Eng Juh Yeoh A, Kawamata N, Nagata Y, Xiao JF, Loh XY, Lin DC, Garg M, Jiang YY, Xu L, Lim SL, Liu LZ, Madan V, Sanada M, Fernandez LT, Preethi H, Lill M, Kantarjian HM, Kornblau SM, Miyano S, Liang DC, Ogawa S, Shih LY, Yang H, Koeffler HP.	4. 巻 77
2. 論文標題 Mutational Landscape of Pediatric Acute Lymphoblastic Leukemia.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Cancer Res.	6. 最初と最後の頁 390-400
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jaci.2016.09.029.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Chien W, Sun QY, Ding LW, Mayakonda A, Takao S, Liu L, Lim SL, Tan KT, Garg M, De Sousa Maria Varela A, Xiao J, Jacob N, Behrens K, Stocking C, Lill M, Madan V, Hattori N, Gery S, Ogawa S, Wakita S, Ikezoe T, Shih LY, Alpermann T, Haferlach T, Yang H, Koeffler HP.	4. 巻 -
2. 論文標題 Diagnosis and relapse: cytogenetically normal acute myelogenous leukemia without FLT3-ITD or MLL-PTD.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Leukemia.	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/leu.2016.343.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yabe M, Yabe H, Morimoto T, Fukumura A, Ohtsubo K, Koike T, Yoshida K, Ogawa S, Ito E, Okuno Y, Muramatsu H, Kojima S, Matsuo K, Hira A, Takata M.	4. 巻 175
2. 論文標題 The phenotype and clinical course of Japanese Fanconi Anaemia infants is influenced by patient, but not maternal ALDH2 genotype.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Br J Haematol.	6. 最初と最後の頁 457-461
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/bjh.14243.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Volkert S, Haferlach T, Holzwarth J, Zenger M, Kern W, Staller M, Nagata Y, Yoshida K, Ogawa S, Schnittger S, Haferlach C.	4. 巻 30
2. 論文標題 Array CGH identifies copy number changes in 11% of 520 MDS patients with normal karyotype and uncovers prognostically relevant deletions.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Leukemia.	6. 最初と最後の頁 259-261
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/leu.2015.257.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Uchi R, et al.	4. 巻 12
2. 論文標題 Integrated Multiregional Analysis Proposing a New Model of Colorectal Cancer Evolution	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 PLoS Genet.	6. 最初と最後の頁 e1005778
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pgen.1005778	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tsujiya Y, et al.	4. 巻 138
2. 論文標題 Phosphatase and tensin homolog (PTEN) mutation can cause activated phosphatidylinositol 3-kinase delta syndrome-like immunodeficiency.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 J Allergy Clin Immunol.	6. 最初と最後の頁 1672-1680 e1610
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tominaga R, Katagiri T, Kataoka K, Kataoka K, Wee RK, Maeda A, Gomyo H, Mizuno I, Murayama T, Ogawa S, Nakao S.	4. 巻 30
2. 論文標題 Paroxysmal nocturnal hemoglobinuria induced by the occurrence of BCR-ABL in a PIGA mutant hematopoietic progenitor cell.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Leukemia.	6. 最初と最後の頁 1208-1210
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/leu.2015.268.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Shiba N, Yoshida K, Shiraishi Y, Okuno Y, Yamato G, Hara Y, Nagata Y, Chiba K, Tanaka H, Terui K, Kato M, Park MJ, Ohki K, Shimada A, Takita J, Tomizawa D, Kudo K, Arakawa H, Adachi S, Taga T, Tawa A, Ito E, Horibe K, Sanada M, Miyano S, Ogawa S, Hayashi Y.	4. 巻 175
2. 論文標題 Whole-exome sequencing reveals the spectrum of gene mutations and the clonal evolution patterns in paediatric acute myeloid leukaemia.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Br J Haematol.	6. 最初と最後の頁 476-489
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/bjh.14247.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Scelo G, et al.	4. 巻 27
2. 論文標題 International cancer seminars: a focus on kidney cancer.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Ann Oncol.	6. 最初と最後の頁 1382-1385
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/annonc/mdw186.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sawada G, et al.	4. 巻 150
2. 論文標題 Genomic Landscape of Esophageal Squamous Cell Carcinoma in a Japanese Population.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Gastroenterology.	6. 最初と最後の頁 1171-1182
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1053/j.gastro.2016.01.035.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sakurai M, Kasahara H, Yoshida K, Yoshimi A, Kunimoto H, Watanabe N, Shiraishi Y, Chiba K, Tanaka H, Harada Y, Harada H, Kawakita T, Kurokawa M, Miyano S, Takahashi S, Ogawa S, Okamoto S, Nakajima H.	4. 巻 6
2. 論文標題 Genetic basis of myeloid transformation in familial platelet disorder/acute myeloid leukemia patients with haploinsufficient RUNX1 allele.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Blood Cancer J.	6. 最初と最後の頁 e392
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/bcj.2015.81.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Palomo L, Xicoy B, Garcia O, Mallo M, Adema V, Cabezon M, Arnan M, Pomares H, Jose Larrayoz M, Jose Calasanz M, Maciejewski JP, Huang D, Shih LY, Ogawa S, Cervera J, Such E, Coll R, Grau J, Sole F, Zamora L.	4. 巻 91
2. 論文標題 Impact of SNP array karyotyping on the diagnosis and the outcome of chronic myelomonocytic leukemia with low risk cytogenetic features or no metaphases.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Am J Hematol.	6. 最初と最後の頁 185-192
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ogawa S.	4. 巻 128
2. 論文標題 Clonal hematopoiesis in acquired aplastic anemia.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Blood.	6. 最初と最後の頁 337-347
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1182/blood-2016-01-636381.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Niemoller C, Renz N, Bleul S, Blagitko-Dorfs N, Greil C, Yoshida K, Pfeifer D, Follo M, Duyster J, Claus R, Ogawa S, Lubbert M, Becker H.	4. 巻 47
2. 論文標題 Single cell genotyping of exome sequencing-identified mutations to characterize the clonal composition and evolution of inv(16) AML in a CBL mutated clonal hematopoiesis.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Leuk Res.	6. 最初と最後の頁 41-46
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.leukres.2016.05.008.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nagata Y, et al.	4. 巻 127
2. 論文標題 Variegated RHOA mutations in adult T-cell leukemia/lymphoma.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Blood	6. 最初と最後の頁 596-604
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.leukres.2016.05.008.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Muraoka M, Okuma C, Kanamitsu K, Ishida H, Kanazawa Y, Washio K, Seki M, Kato M, Takita J, Sato Y, Ogawa S, Tsukahara H, Oda M, Shimada A.	4. 巻 61
2. 論文標題 Adults with germline CBL mutation complicated with juvenile myelomonocytic leukemia at infancy.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 J Hum Genet.	6. 最初と最後の頁 523-526
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/jhg.2016.8.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Morishima S, Kashiwase K, Matsuo K, Azuma F, Yabe T, Sato-Otsubo A, Ogawa S, Shiina T, Satake M, Saji H, Kato S, Kodera Y, Sasazuki T, Morishima Y, Japan Marrow Donor P.	4. 巻 101
2. 論文標題 High-risk HLA alleles for severe acute graft-versus-host disease and mortality in unrelated donor bone marrow transplantation.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Haematologica.	6. 最初と最後の頁 491-498
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3324/haematol.2015.136903.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Mori T, Nagata Y, Makishima H, Sanada M, Shiozawa Y, Kon A, Yoshizato T, Sato-Otsubo A, Kataoka K, Shiraishi Y, Chiba K, Tanaka H, Ishiyama K, Miyawaki S, Mori H, Nakamaki T, Kihara R, Kiyoi H, Koeffler HP, Shih LY, Miyano S, Naoe T, Haferlach C, Kern W, Haferlach T, Ogawa S, Yoshida K.	4. 巻 30
2. 論文標題 Somatic PHF6 mutations in 1760 cases with various myeloid neoplasms.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Leukemia.	6. 最初と最後の頁 2270-2273
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/leu.2016.212.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Mitani K, Nagata Y, Sasaki K, Yoshida K, Chiba K, Tanaka H, Shiraishi Y, Miyano S, Makishima H, Nakamura Y, Nakamura Y, Ichikawa M, Ogawa S.	4. 巻 128
2. 論文標題 Somatic mosaicism in chronic myeloid leukemia in remission.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Blood.	6. 最初と最後の頁 2863-2866
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1182/blood-2016-06-723494	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Merlevede J, et al.	4. 巻 7
2. 論文標題 Mutation allele burden remains unchanged in chronic myelomonocytic leukaemia responding to hypomethylating agents.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Nat Commun.	6. 最初と最後の頁 10767
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/ncomms10767.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Maruyama H, Katagiri T, Kashiwase K, Shiina T, Sato-Otsubo A, Zaimoku Y, Maruyama K, Hosokawa K, Ishiyama K, Yamazaki H, Inoko H, Ogawa S, Nakao S.	4. 巻 44
2. 論文標題 Clinical significance and origin of leukocytes that lack HLA-A allele expression in patients with acquired aplastic anemia.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Exp Hematol.	6. 最初と最後の頁 931-939
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.exphem	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Matsushita H, Sato Y, Karasaki T, Nakagawa T, Kume H, Ogawa S, Homma Y, Kakimi K.	4. 巻 4
2. 論文標題 Neoantigen Load, Antigen Presentation Machinery, and Immune Signatures Determine Prognosis in Clear Cell Renal Cell Carcinoma.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Cancer Immunol Res.	6. 最初と最後の頁 463-471
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1158/2326-6066.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Mansouri L, et al.	4. 巻 128
2. 論文標題 Frequent NFKBIE deletions are associated with poor outcome in primary mediastinal B-cell lymphoma.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Blood.	6. 最初と最後の頁 2666-2670
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1182/blood-2016-03-704528	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Madan V, et al.	4. 巻 30
2. 論文標題 Comprehensive mutational analysis of primary and relapse acute promyelocytic leukemia.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Leukemia.	6. 最初と最後の頁 1672-1681
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/leu.2016.237.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kitamura K, Okuno Y, Yoshida K, Sanada M, Shiraishi Y, Muramatsu H, Kobayashi R, Furukawa K, Miyano S, Kojima S, Ogawa S, Kunishima S.	4. 巻 14
2. 論文標題 Functional characterization of a novel GF11B mutation causing congenital macrothrombocytopenia.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 J Thromb Haemost.	6. 最初と最後の頁 1462-1469
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/leu.2016.237.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kim T, Yoshida K, Kim YK, Tyndel MS, Park HJ, Choi SH, Ahn JS, Jung SH, Yang DH, Lee JJ, Kim HJ, Kong G, Ogawa S, Zhang Z, Kim HJ, Kim DD.	4. 巻 30
2. 論文標題 Clonal dynamics in a single AML case tracked for 9 years reveals the complexity of leukemia progression.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Leukemia.	6. 最初と最後の頁 295-302
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/leu.2015.264.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ki Kim S, Ueda Y, Hatano E, Kakiuchi N, Takeda H, Goto T, Shimizu T, Yoshida K, Ikura Y, Shiraishi Y, Chiba K, Tanaka H, Miyano S, Uemoto S, Chiba T, Ogawa S, Marusawa H.	4. 巻 139
2. 論文標題 TERT promoter mutations and chromosome 8p loss are characteristic of nonalcoholic fatty liver disease-related hepatocellular carcinoma.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Int J Cancer.	6. 最初と最後の頁 2512-2518
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/ijc.30379	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kato M, Seki M, Yoshida K, Sato Y, Oyama R, Arakawa Y, Kishimoto H, Taki T, Akiyama M, Shiraishi Y, Chiba K, Tanaka H, Mitsuiki N, Kajiwara M, Mizutani S, Sanada M, Miyano S, Ogawa S, Koh K, Takita J.	4. 巻 175
2. 論文標題 Genomic analysis of clonal origin of Langerhans cell histiocytosis following acute lymphoblastic leukaemia.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Br J Haematol.	6. 最初と最後の頁 169-172
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/bjh.13841.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kataoka K, et al.	4. 巻 534
2. 論文標題 Aberrant PD-L1 expression through 3'-UTR disruption in multiple cancers.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Nature.	6. 最初と最後の頁 402-406
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/bjh.13841.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kataoka K, Ogawa S.	4. 巻 44
2. 論文標題 Variegated RHOA mutations in human cancers.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Exp Hematol.	6. 最初と最後の頁 1123-1129
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.exphem.2016.09.002.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Inaguma Y, Akatsuka Y, Hosokawa K, Maruyama H, Okamoto A, Katagiri T, Shiraishi K, Murayama Y, Tsuzuki-Iba S, Mizutani Y, Nishii C, Yamamoto N, Demachi-Okamura A, Kuzushima K, Ogawa S, Emi N, Nakao S.	4. 巻 172
2. 論文標題 Induction of HLA-B*40:02-restricted T cells possessing cytotoxic and suppressive functions against haematopoietic progenitor cells from a patient with severe aplastic anaemia.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Br J Haematol.	6. 最初と最後の頁 131-134
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/bjh.13464.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Imashuku S, Muramatsu H, Sugihara T, Okuno Y, Wang X, Yoshida K, Kato A, Kato K, Tatsumi Y, Hattori A, Kita S, Oe K, Sueyoshi A, Usui T, Shiraishi Y, Chiba K, Tanaka H, Miyano S, Ogawa S, Kojima S, Kanno H.	4. 巻 104
2. 論文標題 PIEZO1 gene mutation in a Japanese family with hereditary high phosphatidylcholine hemolytic anemia and hemochromatosis-induced diabetes mellitus.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Int J Hematol.	6. 最初と最後の頁 125-129
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s12185-016-1970-x.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ikeda F, Toki T, Kanazaki R, Terui K, Yoshida K, Kanno H, Ohga S, Ohara A, Kojima S, Ogawa S, Ito E.	4. 巻 103
2. 論文標題 ALDH2 polymorphism in patients with Diamond-Blackfan anemia in Japan.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Int J Hematol.	6. 最初と最後の頁 112-114
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s12185-015-1891-0.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Arashiki N, Takakuwa Y, Mohandas N, Hale J, Yoshida K, Ogura H, Utsugisawa T, Ohga S, Miyano S, Ogawa S, Kojima S, Kanno H.	4. 巻 101
2. 論文標題 ATP11C is a major flippase in human erythrocytes and its defect causes congenital hemolytic anemia.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Haematologica.	6. 最初と最後の頁 559-565
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3324/haematol.2016.142273.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yoshizato T, Dumitriu B, Hosokawa K, Makishima H, Yoshida K, Townsley D, Sato-Otsubo A, Sato Y, Liu D, Suzuki H, Wu CO, Shiraishi Y, Clemente MJ, Kataoka K, Shiozawa Y, Okuno Y, Chiba K, Tanaka H, Nagata Y, Katagiri T, Kon A, Sanada M, Scheinberg P, Miyano S, Maciejewski JP, Nakao S, Young NS, Ogawa S.	4. 巻 373(1)
2. 論文標題 Somatic Mutations and Clonal Hematopoiesis in Aplastic Anemia.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 N Engl J Med.	6. 最初と最後の頁 35-47
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1056/NEJMoa1414799.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Sakaguchi H, Muramatsu H, Okuno Y, Makishima H, Xu Y, Furukawa-Hibi Y, Wang X, Narita A, Yoshida K, Shiraishi Y, Doisaki S, Yoshida N, Hama A, Takahashi Y, Yamada K, Miyano S, Ogawa S, Maciejewski JP, Kojima S.	4. 巻 PLoS One 10(12)
2. 論文標題 Aberrant DNA Methylation Is Associated with a Poor Outcome in Juvenile Myelomonocytic Leukemia.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 PLoS One	6. 最初と最後の頁 e0145394
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) doi: 10.1371/journal.pone.0145394. eCollection 2015.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kataoka K, Nagata Y, Kitanaka A, Shiraishi Y, et.al.Ogawa S.	4. 巻 47(11)
2. 論文標題 Integrated molecular analysis of adult T cell leukemia/lymphoma.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Nat Genet.	6. 最初と最後の頁 1304-15
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) doi: 10.3324/haematol.2015.127092.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Wang X, Muramatsu H, Okuno Y, Sakaguchi H, Yoshida K, Kawashima N, Xu Y, Shiraishi Y, Chiba K, Tanaka H, Saito S, Nakazawa Y, Masunari T, Hirose T, Elmahdi S, Narita A, Doisaki S, Ismael O, Makishima H, Hama A, Miyano S, Takahashi Y, Ogawa S, Kojima S.	4. 巻 100(10)
2. 論文標題 GATA2 and secondary mutations in familial myelodysplastic syndromes and pediatric myeloid malignancies.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Haematologica.	6. 最初と最後の頁 e398-401
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) doi: 10.3324/haematol.2014.111989.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Huang D, Nagata Y, Grossmann V, et.al.,Ogawa S, Makishima H.	4. 巻 100(8)
2. 論文標題 BRCC3 mutations in myeloid neoplasms.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Haematologica.	6. 最初と最後の頁 1051-7
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) doi: 10.3324/haematol.2014.111989.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Polprasert C, Schulze I, Sekeres MA, et. al. Ogawa S.	4. 巻 27(5)
2. 論文標題 Inherited and Somatic Defects in DDX41 in Myeloid Neoplasms.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Cancer Cell.	6. 最初と最後の頁 658-70.
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) doi: 10.1016/j.ccell.2015.03.017.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Alpermann T, Shiraishi Y, Chiba K, et.al. Ogawa S.	4. 巻 29(11)
2. 論文標題 Clinical and biological implications of ancestral and non-ancestral IDH1 and IDH2 mutations in myeloid neoplasms.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Leukemia.	6. 最初と最後の頁 2134-42.
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) doi: 10.1038/leu.2015.91.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Young NS, Ogawa S.	4. 巻 373(17)
2. 論文標題 Somatic Mutations and Clonal Hematopoiesis in Aplastic Anemia.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 N Engl J Med.	6. 最初と最後の頁 1675-1676.
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) doi: 10.1056/NEJMc1509703.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Suzuki H, Aoki K, Chiba K, et.al. Ogawa S.	4. 巻 47(5)
2. 論文標題 Mutational landscape and clonal architecture in grade II and III gliomas.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Nat Genet.	6. 最初と最後の頁 458-468.
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) doi: 10.1038/ng.3273.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Suzuki H, Aoki K, Chiba K, et.al. Ogawa S.	4. 巻 47(5)
2. 論文標題 Mutational landscape and clonal architecture in grade II and III gliomas.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Nat Genet.	6. 最初と最後の頁 458-468.
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) doi: 10.1038/ng.3273.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Suzuki H, Aoki K, Chiba K, et.al. Ogawa S.	4. 巻 47(5)
2. 論文標題 Mutational landscape and clonal architecture in grade II and III gliomas.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Nat Genet.	6. 最初と最後の頁 458-468.
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) doi: 10.1038/ng.3273.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

〔学会発表〕 計209件 (うち招待講演 61件 / うち国際学会 97件)

1. 発表者名 Tomomi Nishimura, Kenichi Yoshida, Nobuyuki Kakiuchi, Yasuhide Takeuchi, Yukiko Kawata, Hirona Maeda, Yusuke Shiozawa, Kosuke Aoki, Masahiro Hirata, Tatsuki R. Kataoka, Takaki Sakurai, Satoko Baba, Yuichi Shiraishi, Kenichi Chiba, Kengo Takeuchi, Hironori Haga, Satoru Miyano, Masakazu Toi, and Seishi Ogawa
2. 発表標題 Clonal evolution of proliferative lesions into breast cancers
3. 学会等名 San Antonio Breast Cancer Symposium 2019 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ryosaku Inagaki, Masahiro M Nakagawa, Yasuhito Nannya, Xingxing Qi, Lanying Zhao, June Takeda, Akinori Yoda, Ayana Kon, Hisashi Tsurumi, Hideki Makishima, Seishi Ogawa
2. 発表標題 Analysis of mechanisms underlying clonal evolution of AML by a new single-cell sequencing platform
3. 学会等名 The 61st Annual Meeting and Exposition of American Society of Hematology (国際学会)
4. 発表年 2019年

1 . 発表者名 Ryunosuke Saiki, Ogawa S., et al.
2 . 発表標題 Integrated Analysis of Copy-Number Alterations and Gene Mutations in 2,000 Patients with Myeloid Neoplasms
3 . 学会等名 The 61st Annual Meeting and Exposition of American Society of Hematology (国際学会)
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 June Takeda , Ogawa S., et al.
2 . 発表標題 Novel molecular pathogenesis and therapeutic targets in acute erythroid leukemia
3 . 学会等名 The 61st Annual Meeting and Exposition of American Society of Hematology (国際学会)
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Yasuhito Nannya, Ogawa S., et al.
2 . 発表標題 Molecular characteristics that predict response to azacitidine therapy
3 . 学会等名 The 61st Annual Meeting and Exposition of American Society of Hematology (国際学会)
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Akinori Yoda, Daisuke Morishita, Akio Mizutani, Hirokazu Tozaki, Yotaro Ochi, Yoshihiko Satoh, Yasuhito Nannya, Hideki Makishima, Hiroshi Miyake and Seishi Ogawa
2 . 発表標題 CTX-712, a novel CLK inhibitor targeting myeloid neoplasms with splicing factor mutations
3 . 学会等名 The 61st Annual Meeting and Exposition of American Society of Hematology (国際学会)
4 . 発表年 2019年

1. 発表者名 Seishi Ogawa
2. 発表標題 A Unique Mechanism of Cancer Immune Evasion via the Disruption of PD-L1 3' -UTR
3. 学会等名 第50回記念高松宮妃癌研究基金国際シンポジウム(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 垣内 伸之, 内野 基, 木原 多佳子, 赤木 宏太郎, 井上 善景, 長山 聡, 横山 顕礼, 平野 智紀, 竹内 康英, 越智 陽太郎, 塩澤 裕介, 片岡 圭亮, 中川 正宏, 依田 成玄, 南谷 泰仁, 牧島 秀樹, 白石 友一, 千葉 健一, 真田 昌, 三好 弘之, 坂井 義治, 桜井 孝規, 羽賀 博典, 廣田 誠一, 池内 浩基, 竹内 理, 宮野 悟, 妹尾 浩, 小川 誠司
2. 発表標題 潰瘍性大腸炎における上皮細胞の陽性選択
3. 学会等名 第42回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Seishi Ogawa
2. 発表標題 Clonal Origin of Cancer
3. 学会等名 XXIX IACRLRD SYMPOSIUM IACRLRD2019(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Seishi Ogawa
2. 発表標題 On the Origin of Cancer
3. 学会等名 The 7th McGill-Kyoto Training course & Symposium(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名	Ryosaku Inagaki, Masahiro M Nakagawa, Yasuhito Nannya, Xingxing Qi, Zhao Lanying, June Takeda, Akinori Yoda, Ayana Kon, Hisashi Tsurumi, Hideki Makishima, Seishi Ogawa
2. 発表標題	Analysis of mechanisms underlying clonal evolution of AML by a new single-cell sequencing platform
3. 学会等名	The 81st JCA conference 2019, Tokyo, Japan
4. 発表年	2019年

1. 発表者名	Hiroo Ueno, Ogawa S., et al.
2. 発表標題	Clinical significance of TP53 mutations in pediatric B cell acute lymphoblastic leukemia
3. 学会等名	第81回日本血液学会学術集会
4. 発表年	2019年

1. 発表者名	June Takeda , Ogawa S., et al.
2. 発表標題	NOVEL MOLECULAR PATHOGENESIS AND THERAPEUTIC TARGET IN ACUTE ERYTHROID LEUKEMIA
3. 学会等名	第81回日本血液学会学術集会
4. 発表年	2019年

1. 発表者名	竹内 康英, Chantana Polprasert, 垣内 伸之, 吉田 健一, 真田 昌, 秋田 直洋, 竹田 淳恵, 藤井 陽一, 鈴木 啓道, 南谷 泰仁, 白石 友一, 千葉 健一, 田中 洋子, 宮野 悟, Ponlapat Rojnuckarin, 小川 誠司, 牧島 秀樹
2. 発表標題	孤発例の皮下脂肪織炎様T細胞リンパ腫でも高頻度でTIM3の胚細胞変異を認める
3. 学会等名	第81回日本血液学会学術集会
4. 発表年	2019年

1. 発表者名 佐伯 龍之介, , 小川 誠司他
2. 発表標題 骨髓系腫瘍におけるコピー数異常と遺伝子変異の統合解析
3. 学会等名 第81回日本血液学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yasuhito Nannya, June Takeda, Hiroko Tanaka, Kenichi Chiba, Yuichi Shiraishi, Masahiro Nakagawa, Hideki Makishima, Kenichi Yoshida, Shigeru Chiba, Yasushi Miyazaki, Kazuma Ohyashiki, Satoru Miyano, and Seishi Ogawa
2. 発表標題 Novel combinations of genetic events and subtypes in myeloid tumors revealed by Integrated analysis
3. 学会等名 第81回日本血液学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Rurika Okuda, Ogawa S., et al.
2. 発表標題 Distinct ethnic, clinical, and genetic characteristics of der(1;7) in myelodysplastic syndromes
3. 学会等名 第78回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 佐伯 龍之介、塩澤 裕介、吉里 哲一、南谷 泰仁、竹田 淳恵、吉田 健一、白石 友一、千葉 滋、石川 隆之、宮野 悟、牧島 秀樹、小川 誠司
2. 発表標題 骨髓系腫瘍におけるコピー数異常と遺伝子変異の統合解析
3. 学会等名 第78回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ryosaku Inagaki, Masahiro M Nakagawa, Yasuhito Nannya, Xingxing Qi, June Takeda, Akinori Yoda, Ayana Kon, Hideki Makishima, Seishi Ogawa
2. 発表標題 Analysis of mechanisms underlying clonal evolution in MDS to sAML transformation by single-cell sequencing
3. 学会等名 第78回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Tomomi Nishimura, Kenichi Yoshida, Yasuhide Takeuchi, Nobuyuki Kakiuchi, Yusuke Shiozawa, Tatsuki R. Kataoka, Takaki Sakurai, Kengo Takeuchi, Hironori Haga, Satoru Miyano, Masakazu Toi, Seishi Ogawa
2. 発表標題 Clonal evolution of proliferative lesions into breast cancers
3. 学会等名 第78回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 June Takeda, Ogawa S., et al.
2. 発表標題 急性赤白血病のゲノム解析と治療標的
3. 学会等名 第78回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 竹内 康英, 鈴木 啓道, 吉田 健一, 白石 友一, 垣内 伸之, 塩澤 裕介, 井上 善景, 千葉 健一, 牧島 秀樹, 宮野 悟, 羽賀 博典, Damm Frederik, 小川 誠司
2. 発表標題 粘液線維肉腫にみられるTP53の異常と著明な遺伝的不安定性
3. 学会等名 第78回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yoshikage Inoue, Nobuyuki Kakiuchi, Kenichi Yoshida, Yusuke Shiozawa, Yuichi Shiraishi, Kenichi Chiba, Tetsuichi Yoshizato, Hiroko Tanaka, Ai Okada, Satoshi Nagayama, Satoru Miyano, Yoshiharu Sakai and Seishi Ogawa
2. 発表標題 Clinical and Genetic Characteristics of Colorectal Cancer with POLE Gene Mutation
3. 学会等名 第78回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Seishi Ogawa
2. 発表標題 Molecular profiles in Myelodysplastic Syndromes
3. 学会等名 QOL-ONE IV Annual Conference (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Seishi Ogawa
2. 発表標題 Clonal expansion in non-cancer tissues
3. 学会等名 The XVIIIth KICancer-StratCan Retreat (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Tomomi Nishimura, Kenichi Yoshida, Yukiko Kawata, Yasuhide Takeuchi, Nobuyuki Kakiuchi, Yusuke Shiozawa, Kosuke Aoki, Masahiro Hirata, Tatsuki R. Kataoka, Takaki Sakurai, Satoko Baba, Yuichi Shiraishi, Kenichi Chiba, Kengo Takeuchi, Hironori Haga, Satoru Miyano, Masakazu Toi, Seishi Ogawa
2. 発表標題 Clonal evolution of non-malignant proliferative lesions into breast cancers
3. 学会等名 第27回日本乳癌学会学術総会
4. 発表年 2019年

1 . 発表者名 June Takeda , Ogawa S. , et al .
2 . 発表標題 NOVEL MOLECULAR PATHOGENESIS AND THERAPEUTIC TARGET IN ACUTE ERYTHROID LEUKEMIA
3 . 学会等名 24th EHA Anniversary Congress, Amsterdam, (国際学会)
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Ayana Kon Yasuhito Nannya, Keisuke Kataoka, Manabu Nakayama, Haruhiko Koseki, Masashi Sanada, Hideki Makishima, Marshall Masahiro Nakagawa, Seishi Ogawa
2 . 発表標題 Biological characterization of the U2af1 S34F mutation in the pathogenesis of myelodysplasia
3 . 学会等名 24th EHA Anniversary Congress, Amsterdam, (国際学会)
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Seishi Ogawa
2 . 発表標題 Clonal hematopoiesis in Aplastic anemia
3 . 学会等名 24th EHA Anniversary Congress, Amsterdam, (招待講演) (国際学会)
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Ryunosuke Saiki, Ogawa S. , et al .
2 . 発表標題 NGS-based Copy Number Analysis in 1,966 Patients with Myeloid Neoplasms
3 . 学会等名 24th EHA Anniversary Congress, Amsterdam, (国際学会)
4 . 発表年 2019年

1. 発表者名 Seishi Ogawa
2. 発表標題 Germline DDX41 mutations in the Japanese populations
3. 学会等名 The 10th JSH International (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 竹内 康英, Chantana Polprasert, 垣内 伸之, 吉田 健一, 真田 昌, 秋田 直洋, 竹田 淳恵, 藤井 陽一, 鈴木 啓道, 南谷 泰仁, 白石 友一, 千葉 健一, 田中 洋子, 宮野 悟, Ponlapat Rojnuckarin, 小川 誠司, 牧島 秀樹
2. 発表標題 孤発例の皮下脂肪織炎様T細胞リンパ腫でも高頻度でTIM3の胚細胞変異を認める
3. 学会等名 第108回病理学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yasuhito Nannya, Ogawa S., et al.
2. 発表標題 Molecular characteristics that predict response to azacitidine therapy
3. 学会等名 15th MDS Symposium (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Rurika Okuda, Ogawa S., et al.
2. 発表標題 Distinct ethnic, clinical, and genetic characteristics of der(1;7) in myelodysplastic syndromes
3. 学会等名 15th MDS Symposium (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小川 誠司
2. 発表標題 がんの起源について
3. 学会等名 第30回日本医学会総会 2019 中部 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小川 誠司
2. 発表標題 がんの起源について
3. 学会等名 第56回日本臨床分子医学会学術集会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Nobuyuki Kakiuchi, Ogawa S., et al.
2. 発表標題 Genetic analysis of pancreatic neuroendocrine neoplasms grade 3
3. 学会等名 American Association for Cancer Research Annual Meeting 2019. Atlanta, USA (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Tatsuki Ogasawara, Yoichi Fujii, Masanori Fujimoto, Yusuke Shiozawa, Hiromichi Suzuki, Tetsuichi Yoshizato, Kenichi Yoshida, Yuichi Shiraishi, Kenichi Chiba, Hiroko Tanaka, Hideki Makishima, Satoru Miyano, Tomoaki Tanaka, Seishi Ogawa
2. 発表標題 Genetic analysis of pheochromocytoma
3. 学会等名 American Association for Cancer Research Annual Meeting 2019. Atlanta, USA (国際学会)
4. 発表年 2019年

1 . 発表者名 Tomomi Nishimura, Kenichi Yoshida, Yukiko Kawata, Yasuhide Takeuchi, Nobuyuki Kakiuchi, Yusuke Shiozawa, Kosuke Aoki, Masahiro Hirata, Tatsuki R. Kataoka, Takaki Sakurai, Satoko Baba, Yuichi Shiraishi, Kenichi Chiba, Kengo Takeuchi, Hironori Haga, Satoru Miyano, Masakazu Toi, Seishi Ogawa
2 . 発表標題 Clonal evolution of non-malignant proliferative lesions into breast cancers
3 . 学会等名 American Association for Cancer Research Annual Meeting 2019.Atlanta, USA (国際学会)
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Yasuhide Takeuchi, Annegret Kunitz, Hiromichi Suzuki, Kenichi Yoshida, Yuichi Shiraishi, Teppei Shimamura, Kenichi Chiba, Hiroko Tanaka, Nobuyuki Kakiuchi, Yusuke Shiozawa, Akira Yokoyama, Tetsuichi Yoshizato, Kosuke Aoki, Yoichi Fujii, Hideki Makishima, Hironori Haga, Satoru Miyano, Frederik Damm, Seishi Ogawa
2 . 発表標題 Myxofibrosarcoma is characterized by frequent abnormalities in TP53 and increased genetic instability
3 . 学会等名 American Association for Cancer Research Annual Meeting 2019.Atlanta, USA (国際学会)
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Yoshikage Inoue, Nobuyuki Kakiuchi, Kenichi Yoshida, Yusuke Shiozawa, Yuichi Shiraishi, Kenichi Chiba, Tetsuichi Yoshizato, Hiroko Tanaka, Ai Okada, Satoshi Nagayama, Satoru Miyano, Yoshiharu Sakai and Seishi Ogawa
2 . 発表標題 Mutational landscape of colorectal cancer with POLE gene mutation
3 . 学会等名 American Association for Cancer Research Annual Meeting 2019.Atlanta, USA (国際学会)
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Yasuhide Takeuchi, Annegret Kunitz, Hiromichi Suzuki, Kenichi Yoshida, Yuichi Shiraishi, Teppei Shimamura, Kenichi Chiba, Hiroko Tanaka, Nobuyuki Kakiuchi, Yusuke Shiozawa, Akira Yokoyama, Tetsuichi Yoshizato, Kosuke Aoki, Yoichi Fujii, Hideki Makishima, Hironori Haga, Satoru Miyano, Frederik Damm, Seishi Ogawa
2 . 発表標題 Comprehensive analysis of genetic alterations and intratumor heterogeneity in myxofibrosarcoma
3 . 学会等名 American Association for Cancer Research Annual Meeting 2018 (国際学会)
4 . 発表年 2018年

1. 発表者名 Yoichi Fujii, Yusuke Sato, Hiromichi Suzuki, Tetsuichi Yoshizato, Kenichi Yoshida, Yuichi Shiraishi, Kenichi Chiba, Hiroko Tanaka, Tohru Nakagawa, Hiroaki Nishimatsu, Yoshikazu Hirano, Masashi Sanada, Hideki Makishima, Satoru Miyano, Yukio Homma, Haruki Kume, Seishi Ogawa
2. 発表標題 Integrated molecular analysis of Upper Urinary Tract Urothelial Carcinoma
3. 学会等名 American Association of Cancer Research (AACR) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Tomomi Nishimura, Kenichi Yoshida, Yukiko Kawata, Yasuhide Takeuchi, Nobuyuki Kakiuchi, Yusuke Shiozawa, Kosuke Aoki, Masahiro Hirata, Tatsuki R. Kataoka, Takaki Sakurai, Yuichi Shiraishi, Kenichi Chiba, Kengo Takeuchi, Hironori Haga, Satoru Miyano, Masakazu Toi, Seishi Ogawa
2. 発表標題 Clonal evolution of atypical proliferative lesions into breast cancers
3. 学会等名 AACR Annual Meeting 2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yoichi Fujii, Yusuke Sato, Hiromichi Suzuki, Tetsuichi Yoshizato, Kenichi Yoshida, Yuichi Shiraishi, Kenichi Chiba, Hiroko Tanaka, Tohru Nakagawa, Hiroaki Nishimatsu, Yoshikazu Hirano, Masashi Sanada, Hideki Makishima, Satoru Miyano, Yukio Homma, Seishi Ogawa, Haruki Kume
2. 発表標題 Genetic Landscape and Clonal Expansion of Upper Urinary Tract Urothelial Carcinoma
3. 学会等名 Japan Urology Association (JUA)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 西村友美、吉田健一、川田有希子、竹内康英、垣内伸之、塩澤裕介、青木恒介、平田勝啓、片岡竜貴、桜井孝規、白石友一、千葉健一、竹内賢吾、羽賀博典、宮野悟、戸井雅和、小川誠司
2. 発表標題 乳管上皮異型増殖性病変から乳癌へ至るクローン進化
3. 学会等名 The 26th Annual Meeting of The Japanese Breast Cancer Society
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 小川誠司
2. 発表標題 成人T細胞白血病の分子基盤とがんの免疫回避に関わる新たなメカニズムについて/Molecular basis of adult T-cell leukemia/lymphoma, focusing on cancer immune evasion
3. 学会等名 第22回日本がん分子標的治療学会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yoichi Fujii, Yusuke Sato, Hiromichi Suzuki, Tetsuichi Yoshizato, Kenichi Yoshida, Yuichi Shiraishi, Kenichi Chiba, Hiroko Tanaka, Tohru Nakagawa, Hiroaki Nishimatsu, Yoshikazu Hirano, Masashi Sanada, Hideki Makishima, Satoru Miyano, Yukio Homma, Seishi Ogawa, Haruki Kume
2. 発表標題 Comprehensive analysis of Upper Urinary Tract Urothelial Carcinoma
3. 学会等名 American Urology Association (AUA)（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Seishi Ogawa
2. 発表標題 Clonal evolution in myelodysplastic syndrome
3. 学会等名 6th TSH International Symposium（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Hideki Makishima
2. 発表標題 Somatic and Germline Mutations in Myelodysplastic Syndromes.
3. 学会等名 The 6th TSH International Symposium.（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Shinichi Kotani , Seishi Ogawa., et al.
2. 発表標題 MOLECULAR PATHOGENESIS OF DISEASE PROGRESSION IN MLLREARRANGED AML
3. 学会等名 23rd Congress of European Hematology Association (EHA) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yotaro Ochi, Ayana Kon, Masahiro Marshall Nakagawa, Keisuke Kataoka, Kenichi Yoshida, Haruhiko Koseki, Manabu Nakayama, Akinori Yoda, Hideki Makishima, Akifumi Takaori-Kondo2, and Seishi Ogawa
2. 発表標題 Stag2 regulates hematopoietic differentiation and self-renewal
3. 学会等名 23rd Congress of European Hematology Association (EHA) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Seishi Ogawa
2. 発表標題 3' UTR disruption of PD L1 in malignant lymphomas
3. 学会等名 Inaugural AACR International Meeting (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Seishi Ogawa
2. 発表標題 New targetes and biomarkers in hematological malignancies
3. 学会等名 18th World Congress of Basic and Clinical Pharmacology (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Seishi Ogawa
2. 発表標題 Stag2 Regulates Hematopoietic Differentiation and Self-Renewal
3. 学会等名 The 9th JSH International Symposium (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Seishi Ogawa
2. 発表標題 PD-1/PD-L1-mediated immune evasion of virus-associated lymphomas
3. 学会等名 Hematology Research Unit Helsinki (HRUH) Visit August 20th
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Seishi Ogawa
2. 発表標題 Interim analysis of 300 whole genomes of myeloid malignancies
3. 学会等名 KAW Conference on Normal & Malignant Hematopoiesis (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Hideki Makishima
2. 発表標題 Sequential acquisition of mutations in myelodysplastic syndromes
3. 学会等名 41st IRCMS Seminar (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Masahiro M Nakagawa, Ryosaku Inagaki, Yasuhito Nannya, Zhao Lanying, June Takeda, Akinori Yoda, Ayana Kon, Tetsuichi Yoshizato, Hideki Makishima, and Seishi Ogawa
2. 発表標題 Mechanisms of the clonal evolution of MDS as revealed by single-cell sequencing.
3. 学会等名 77th Annual Meeting of the Japanese Cancer Association (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yoshikage Inoue, Nobuyuki Kakiuchi, Kenichi Yoshida, Yusuke Shiozawa, Yuichi Shiraishi, Kenichi Chiba, Tetsuichi Yoshizato, Yasuhide Takeuchi, Satoshi Nagayama, Satoru Miyano, Yoshiharu Sakai, Seishi Ogawa
2. 発表標題 Prognostic impact of POLE mutation in Colorectal Cancer
3. 学会等名 77th Annual Meeting of the Japanese Cancer Association (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yasuhito Nannya, June Takeda, Yuichi Shiraishi, Kenichi Chiba, Hiroko Tanaka, Akifumi Takaori, Shigeru Chiba, Kazuma Ohyashiki, Yasushi Miyazaki, Tomoki Naoe, Satoru Miyano, Seishi Ogawa
2. 発表標題 Comprehensive analysis for genetic factors predictive of azacitidine treatment for MDS.
3. 学会等名 77th Annual Meeting of the Japanese Cancer Association (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 横山顕礼、吉里哲一、垣内伸之、南谷泰仁、鈴木啓道、塩澤祐介、佐藤悠佑、竹内康英、牧島秀樹、角田茂、真田昌、宮野悟、武藤学、小川誠司
2. 発表標題 Age-related remodeling of apparently normal esophageal epithelia by common cancer drivers
3. 学会等名 77th Annual Meeting of the Japanese Cancer Association
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yoichi Fujii, Yusuke Sato, Hiromichi Suzuki, Tetsuichi Yoshizato, Kenichi Yoshida, Yuichi Shiraishi, Kenichi Chiba, Hiroko Tanaka, Tohru Nakagawa, Hiroaki Nishimatsu, Yoshikazu Hirano, Masashi Sanada, Hideki Makishima, Satoru Miyano, Yukio Homma, Haruki Kume, Seishi Ogawa
2. 発表標題 上部尿路上皮癌の網羅的ゲノム解析
3. 学会等名 77th Annual Meeting of the Japanese Cancer Association
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Tomomi Nishimura, Kenichi Yoshida, Yasuhide Takeuchi, Nobuyuki Kakiuchi, Yusuke Shiozawa, Tatsuki R. Kataoka, Takaki Sakurai, Kengo Takeuchi, Hironori Haga, Satoru Miyano, Masakazu Toi, Seishi Ogawa
2. 発表標題 Clonal evolution of non-malignant proliferative lesions into breast cancers
3. 学会等名 The 77th Annual Meeting of the Japanese Cancer Association
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Seishi Ogawa
2. 発表標題 ビッグデータ解析
3. 学会等名 The 77th Annual Meeting of the Japanese Cancer Association (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 垣内 伸之、平野 智紀、竹内 康英、塩澤 裕介、吉澤 明彦、白石 友一、宮野 悟、脇岡 範、谷田部 恭、妹尾 浩、児玉 裕三、小川 誠司
2. 発表標題 Genetic Analysis of Pancreatic Neuroendocrine Neoplasms Grade 3 / 膵神経内分泌癌の網羅的ゲノム解析
3. 学会等名 第77回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 垣内 伸之、平野 智紀、竹内 康英、塩澤 裕介、吉澤 明彦、白石 友一、宮野 悟、脇岡 範、谷田部 恭、妹尾 浩、児玉 裕三、小川 誠司
2. 発表標題 Genetic Analysis of Pancreatic Neuroendocrine Neoplasms Grade 3 / 膵神経内分泌癌の網羅的ゲノム解析
3. 学会等名 第77回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 南谷泰仁
2. 発表標題 高リスクMDSの新規治療について
3. 学会等名 The 80th Annual Meeting of the Japanese Society of Hematology (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yasuhiro Nannya, Seishi Ogawa, et al.
2. 発表標題 Comprehensive analysis for genetic factors predictive of azacitidine treatment for MDS.
3. 学会等名 The 80th Annual Meeting of the Japanese Society of Hematology
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Seishi Ogawa
2. 発表標題 造血器腫瘍の治療におけるNGSパネルの利用
3. 学会等名 The 80th Annual Meeting of the Japanese Society of Hematology (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Tetsuichi Yoshizato
2. 発表標題 Impact of genetic alterations in stem cell transplantation for myelodysplastic syndromes
3. 学会等名 The 80th Annual Meeting of the Japanese Society of Hematology (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 垣内 伸之、児玉 裕三、小川 誠司
2. 発表標題 網羅的ゲノム解析による膵神経内分泌癌の分_病態の解明と治療薬選択への展望
3. 学会等名 JDDW 2018 KOBE
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 垣内 伸之、児玉 裕三、小川 誠司
2. 発表標題 網羅的ゲノム解析による膵神経内分泌癌の分_病態の解明と治療薬選択への展望
3. 学会等名 JDDW 2018 KOBE
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Hideki Makishima
2. 発表標題 Sequential acquisition of genetic mutations
3. 学会等名 Annual Colloquium
4. 発表年 2018年

1. 発表者名	Masahiro Marshall Nakagawa, Ryosaku Inagaki, Yasuhito Nannya, Lanying Zhao, Yutaka Kuroda, June Takeda, Xingxing Qi, Akinori Yoda, Ayana Kon, Hisashi Tsurumi, Hideki Makishima, Shuichi Matsuda and Seishi Ogawa
2. 発表標題	Analysis of clonal evolution/heterogeneity of MDS by simultaneous detection of both mutation and gene expression by single cell sequencing
3. 学会等名	60th ASH Annual Meeting (国際学会)
4. 発表年	2018年

1. 発表者名	Yasuhito Nannya, Seishi Ogawa., et al.
2. 発表標題	Genome-wide analysis of non-coding alterations in pan-myeloid cancers using whole genome sequencing.
3. 学会等名	60th American Society of Hematology Annual Meeting (国際学会)
4. 発表年	2018年

1. 発表者名	Hideki_Makishima,Seishi Ogawa., et al.
2. 発表標題	Novel and Significant Impact of Germline Variants Predisposed to Pathogenic Somatic Mutations and Loss of Heterozygosity (LOH) in Myelodysplastic Syndromes (MDS) and Clonal Hematopoiesis of Indeterminate Potential (CHIP)
3. 学会等名	60th American Society of Hematology Annual Meeting (国際学会)
4. 発表年	2018年

1. 発表者名	Yasunobu_Nagata,Seishi Ogawa., et al.
2. 発表標題	Invariant Patterns of Clonal Succession Determines Specific Phenotypic and Clinical Features of Myelodysplastic Syndromes (MDS)
3. 学会等名	60th American Society of Hematology Annual Meeting (国際学会)
4. 発表年	2018年

1 . 発表者名 Masataka_Taguchi,Seishi Ogawa., et al.
2 . 発表標題 Genomic Analysis of Myelodysplastic Syndromes Among Nagasaki Atomic Bomb Survivors
3 . 学会等名 61st American Society of Hematology Annual Meeting (国際学会)
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Kiyomi_Moritaia,Seishi Ogawa., et al.
2 . 発表標題 Pan-Myeloid Leukemia Analysis: Machine Learning-Based Approach to Predict Phenotype and Clinical Outcomes Using Mutation Data
3 . 学会等名 62nd American Society of Hematology Annual Meeting (国際学会)
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Tomomi Nishimura, Kenichi Yoshida, Yukiko Kawata, Yasuhide Takeuchi, Nobuyuki Kakiuchi, Yusuke Shiozawa, Kosuke Aoki, Masahiro Hirata, Tatsuki R. Kataoka, Takaki Sakurai, Satoko Baba, Yuichi Shiraishi, Kenichi Chiba, Kengo Takeuchi, Hironori Haga, Satoru Miyano, Masakazu Toi, Seishi Ogawa
2 . 発表標題 Clonal evolution of non-malignant proliferative lesions into breast cancers
3 . 学会等名 San Antonio Breast Cancer Symposium 2018 (国際学会)
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Ayana Kon
2 . 発表標題 STAG2 mutations alter epigenic and transcriptional dynamics in myeloid neoplasms
3 . 学会等名 Meeting of Leukemic and Hematopoietic Stem Cells in Tokyo (招待講演)
4 . 発表年 2018年

1. 発表者名 Yoichi Fujii, Yusuke Sato, Hiromichi Suzuki, Tetsuichi Yoshizato, Kenichi Yoshida, Yuichi Shiraishi, Kenichi Chiba, Hiroko Tanaka, Tohru Nakagawa, Hiroaki Nishimatsu, Yoshikazu Hirano, Masashi Sanada, Hideki Makishima, Satoru Miyano, Yukio Homma, Seishi Ogawa, Haruki Kume
2. 発表標題 上部尿路上皮癌の網羅的ゲノム解析
3. 学会等名 泌尿器科分子・細胞研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Seishi Ogawa
2. 発表標題 On the Origin of Human Cancer
3. 学会等名 Institute for the Advanced Study of Human Biology (ASHBi)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yoichi Fujii, Yusuke Sato, Hiromichi Suzuki, Tetsuichi Yoshizato, Kenichi Yoshida, Yuichi Shiraishi, Kenichi Chiba, Hiroko Tanaka, Tohru Nakagawa, Hiroaki Nishimatsu, Yoshikazu Hirano, Masashi Sanada, Hideki Makishima, Satoru Miyano, Yukio Homma, Seishi Ogawa, Haruki Kume
2. 発表標題 Integrated molecular analysis of Upper Urinary Tract Urothelial Carcinoma
3. 学会等名 European Association of Urology(EAU) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yasuhide Takeuchi, Annegret Kunitz, Hiromichi Suzuki, Kenichi Yoshida, Yuichi Shiraishi, Teppei Shimamura, Kenichi Chiba, Hiroko Tanaka, Nobuyuki Kakiuchi, Yusuke Shiozawa, Akira Yokoyama, Tetsuichi Yoshizato, Kosuke Aoki, Yoichi Fujii, Hideki Makishima, Hironori Haga, Satoru Miyano, Frederik Damm, Seishi Ogawa
2. 発表標題 Myxofibrosarcoma is characterized by frequent abnormalities in TP53 and increased genetic instability
3. 学会等名 American Association for Cancer Research Annual Meeting 2019 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1 . 発表者名 Tomomi Nishimura, Kenichi Yoshida, Yukiko Kawata, Yasuhide Takeuchi, Nobuyuki Kakiuchi, Yusuke Shiozawa, Kosuke Aoki, Masahiro Hirata, Tatsuki R. Kataoka, Takaki Sakurai, Satoko Baba, Yuichi Shiraishi, Kenichi Chiba, Kengo Takeuchi, Hironori Haga, Satoru Miyano, Masakazu Toi, Seishi Ogawa
2 . 発表標題 Clonal evolution of non-malignant proliferative lesions into breast cancers
3 . 学会等名 AACR Annual Meeting 2019 (国際学会)
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Yoshikage Inoue, Nobuyuki Kakiuchi, Kenichi Yoshida, Yusuke Shiozawa, Yuichi Shiraishi, Kenichi Chiba, Tetsuichi Yoshizato, Hiroko Tanaka, Ai Okada, Satoshi Nagayama, Satoru Miyano, Yoshiharu Sakai, Seishi Ogawa
2 . 発表標題 Mutational landscape of colorectal cancer with POLE gene mutation
3 . 学会等名 American Association of Cancer Research (AACR) (国際学会)
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 T. Hirano, Y. Takeuchi, N. Kakiuchi, S. Minamiguchi, H. Haga, Y. Kodama, N. Uza, H. Seno, S. Uemoto, T. Masui, K. Yoshida, Y. Shiozawa, K. Chiba, T. Yoshizato, Y. Shiraishi, S. Miyano, S. Ogawa
2 . 発表標題 Genetic analysis of metachronous pancreatic cancers
3 . 学会等名 American Association of Cancer Research (AACR) (国際学会)
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Seishi Ogawa
2 . 発表標題 A Novel Genetic Mechanism of Evading Anti-tumor Immunity In Multiple Human Cancers
3 . 学会等名 2017 AACR Annual Meeting (招待講演) (国際学会)
4 . 発表年 2017年

1 . 発表者名 Yoshikage Inoue, Nobuyuki Kakiuchi, Kenichi Yoshida, Yusuke Shiozawa, Yasuhide Takeuchi, Yuichi Shiraishi, Kenichi Chiba, Keisuke Kataoka, Hiroko Tanaka, Ai Okada, Satoru Miyano, Masashi Ueno, Satoshi Nagayama, Yoshiharu Sakai, Seishi Ogawa
2 . 発表標題 Landscape of driver gene mutations in stage II and stage III colorectal cancer
3 . 学会等名 2017 AACR Annual Meeting (国際学会)
4 . 発表年 2017年

1 . 発表者名 Yoichi Fujii1, Yusuke Sato2, Shigekatsu Maekawa2, Hiromichi Suzuki1, Tetsuichi Yoshizato1, Kenichi Yoshida1, Yuichi Shiraishi3, Kenichi Chiba3, Hiroko Tanaka3, Tohru Nakagawa2, Haruki Kume2, Hiroaki Nishimatsu4, Yoshikazu Hirano4, Masashi Sanada5, Hideki Makishima1, Satoru Miyano3, Yukio Homma2, Seishi Ogawa1
2 . 発表標題 Genomic Landscape and Clonal Expansions of Upper Urinary Tract Urothelial Carcinoma
3 . 学会等名 2017 AACR Annual Meeting (国際学会)
4 . 発表年 2017年

1 . 発表者名 Yasuhide Takeuchi, Annegret Kunitz, Hiromichi Suzuki, Kenichi Yoshida, Yuichi Shiraishi, Teppei Shimamura, Kenichi Chiba, Hiroko Tanaka, Nobuyuki Kakiuchi, Yusuke Shiozawa, Akira Yokoyama, Tetsuichi Yoshizato, Kosuke Aoki, Yoichi Fujii, Hideki Makishima, Hironori Haga, Satoru Miyano, Frederik Damm, Seishi Ogawa.
2 . 発表標題 Comprehensive Genetic Analysis of Myxofibrosarcoma and Comparison with Other Soft Tissue Sarcomas
3 . 学会等名 2017 AACR Annual Meeting (国際学会)
4 . 発表年 2017年

1 . 発表者名 Nobuyuki Kakiuchi, .et al.
2 . 発表標題 The genetic aberrations in carcinogenic sequence of colitis-associated cancer
3 . 学会等名 2017 AACR Annual Meeting (国際学会)
4 . 発表年 2017年

1. 発表者名 小川 誠司
2. 発表標題 がんの免疫回避に関わる新たなメカニズムについて
3. 学会等名 第54回日本臨床分子医学会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Yoichi Fujii1,2, Yusuke Sato1, Hiromichi Suzuki2, Yusuke Shiozawa3, Tetsuichi Yoshizato2, Kenichi Yoshida2, Yuichi Shiraishi4, Tohru Nakagawa1, Haruki Kume1, Hiroaki Nishimatsu5, Toshikazu Okaneya6, Masashi Sanada7, Hideki Makishima2, Satoru Miyano4, Seishi Ogawa2, Yukio Homma1
2. 発表標題 腎盂尿管癌における分子病態の解明とその臨床応用の可能性
3. 学会等名 日本泌尿器科学会総会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 牧島秀樹
2. 発表標題 Experimental pathology: Gene expression and gene mutation 3
3. 学会等名 The 106th Annual Meeting of the Japanese Society of Pathology
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Seishi Ogawa
2. 発表標題 The Aberrant Spliceosome Machinery
3. 学会等名 THE 14 th International SYMPOSIUM on MYELODYSPLASTIC SINDROMES（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Yoichi Fujii1, Yusuke Sato2, Hiromichi Suzuki1, Tetsuichi Yoshizato1, Yusuke Shiozawa1, Kenichi Yoshida1, Yuichi Shiraishi3, Tohru Nakagawa2, Haruki Kume2, Hiroaki Nishimatsu4, Toshikazu Okaneya5, Masashi Sanada6, Hideki Makishima1, Satoru Miyano3, , Seishi Ogawa, Yukio Homma
2. 発表標題 Distinct Genomic Landscape of Upper Urinary Tract Urothelial Carcinoma
3. 学会等名 American Urology Association (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Hideki Makishima
2. 発表標題 Clonal hematopoiesis in aplastic anemia.-CLONAL DYNAMICS ESCAPING FROM AUTOIMMUNITY-
3. 学会等名 Korean Society of Hematology (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 小川 誠司
2. 発表標題 悪性腫瘍の遺伝学
3. 学会等名 芝蘭会学術講演会 (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 小川 誠司
2. 発表標題 がんとゲノムの異常について
3. 学会等名 第45回神戸ラボ全体研究会議 (招待講演)
4. 発表年 2017年

1 . 発表者名 Hitoshi Sakai ,.et al.
2 . 発表標題 A novel genetic and morphologic phenotype of ARID2-mediated myelodysplastic syndromes.
3 . 学会等名 22nd Congress of European Hematology Association (国際学会)
4 . 発表年 2017年

1 . 発表者名 Yusuke Shiozawa,.et al.
2 . 発表標題 Transcriptome Sequencing Reveals Distinct Subtypes of Myelodysplasia with Prognostic Significance.
3 . 学会等名 22nd Congress of European Hematology Association (国際学会)
4 . 発表年 2017年

1 . 発表者名 Yasuhiro Nannya,.et al.
2 . 発表標題 MOLECULAR MARKERS PREDICTING RESPONSE TO AZACITIDINE TREATMENT FOR MYELODYSPLASTIC SYNDROMES.
3 . 学会等名 22nd Congress of European Hematology Association (国際学会)
4 . 発表年 2017年

1 . 発表者名 Hideki Makishima
2 . 発表標題 GENETIC LANDSCAPE OF ACUTE ERYTHROID LEUKEMIA
3 . 学会等名 Hematology Meeting, University of Freiburg (国際学会)
4 . 発表年 2017年

1. 発表者名 小川 誠司
2. 発表標題 MDSにおける遺伝子変異と臨床像・予後について
3. 学会等名 第7回日本骨髄不全症研究会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 牧島秀樹
2. 発表標題 骨髄異形成症候群の分子病態 —遺伝子変異の経時的な獲得—
3. 学会等名 第15回 日本臨床腫瘍学会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Seishi Ogawa
2. 発表標題 A novel mechanism of cancer immune evasion via the disruption of PD-L1 3' -UTR
3. 学会等名 Cold Spring Harbor Conferences Asia on Precision Cancer Biology & Medicine（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 小川 誠司
2. 発表標題 MDSの分子プロファイリング
3. 学会等名 第24回岐阜血液疾患研究会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Seishi Ogawa
2. 発表標題 A novel mechanism of cancer immune evasion via the disruption of PD-L1 3' -UTR
3. 学会等名 The Sixteenth Annual KICancer Retreat (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Keisuke Kataoka ^{1,2} , Seishi Ogawa ¹ (1Dept. Pathol. Tum. Biol., Grad. Sch. Med., Kyoto Univ., 2Div. Mol. Oncol., Natl. Cancer Cent. Res. Inst.)
2. 発表標題 Frequent genetic aberrations involving programmed death ligands in virus-related lymphomas
3. 学会等名 The 76th Annual Meeting of the Japanese Cancer Association
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Shunsuke Kimura, et al.
2. 発表標題 Genome-wide analysis of DNA methylation and genetic alteration in pediatric T-cell acute lymphoblastic leukemia (TALL)
3. 学会等名 The 76th Annual Meeting of the Japanese Cancer Association
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Seishi Ogawa
2. 発表標題 A Novel Genetic Mechanism of Evading Anti-tumor Immunity In Multiple Human Cancers
3. 学会等名 The 76th Annual Meeting of the Japanese Cancer Association
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Seishi Ogawa
2. 発表標題 A novel mechanism of antitumor immunity in multiple human cancers
3. 学会等名 The 76th Annual Meeting of the Japanese Cancer Association
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Hiroo Ueno, .et al.
2. 発表標題 A Novel Prediction Model Integrating Genomic and Clinical Features in Pediatric B-Cell Acute Lymphoblastic Leukemia
3. 学会等名 第76回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 垣内 伸之、吉田 健一、塩澤 裕介、白石 友一、桜井 孝規、坂井 義治、内野 基、廣田 誠一、池内 浩基、宮野 悟、丸澤 宏之、妹尾 浩、小川 誠司
2. 発表標題 The carcinogenic sequence in colitis-associated cancer / 潰瘍性大腸炎関連大腸癌の発癌機序
3. 学会等名 第76回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Seishi Ogawa
2. 発表標題 Aplastic anemia and clonal evolution: risk factors
3. 学会等名 International Meeting on Childhood MDS and SAA (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Yoichi Fujii1,2, Yusuke Sato2, Hiromichi Suzuki1, Kenichi Yoshida1, Yuichi Shiraishi3, Tohru Nakagawa2, Haruki Kume2, Hiroaki Nishimatsu4, Toshikazu Okaneya5, Hideki Makishima1, Satoru Miyano3, Yukio Homma2, Seishi Ogawa
2. 発表標題 Genomic Landscape of Upper Urinary Tract Urothelial Carcinoma
3. 学会等名 第76回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Tomomi Nishimura, Kenichi Yoshida, Yukiko Kawata, Yusuke Shiozawa, Tatsuki R. Kataoka, Takaki Sakurai, Yuichi Shiraishi, Kenichi Chiba, Hironori Haga, Satoru Miyano, Masakazu Toi, Seishi Ogawa
2. 発表標題 Clonal evolution of atypical proliferative lesions into breast cancers/ 異型増殖性病変から乳癌へのクローン進化
3. 学会等名 第76回 日本癌学会学術総会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Yukiko Kawata, Kenichi Yoshida, Nobuko Kawaguchi-Sakita, Tomomi Nishimura, Yusuke Shiozawa, Hanako Shimizu, Eiji Suzuki, Yuichi Shiraishi, Kenichi Chiba, Ai Okada, Hiroko Tanaka, Satoru Miyano, Masakazu Toi and Seishi Ogawa
2. 発表標題 Hereditary predisposition in sporadic and familial breast cancers / 散発性及び家族性乳癌における遺伝性素因
3. 学会等名 The 76th Annual Meeting of Japanese Cancer Association
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Ryosaku Inagaki, Masahiro M Nakagawa, Yasuhito Nannya, Keisuke Kataoka, Tetsuichi Yoshizato, Hideki Makishima, Kenichi Yoshida, Seishi Ogawa
2. 発表標題 Development of a method for high-throughput single-cell RNA sequencing with mutation information/多数の単一細胞における変異情報と発現プロファイルの同時測定手法の開発
3. 学会等名 The 76th Annual Meeting of Japanese Cancer Association
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 横山 顕礼, 垣内 伸之, 鈴木 啓道, 吉里 哲一, 青木 恒一, 竹内 康英, 天沼 裕介, 西川 佳孝, 大橋 真也, 青山 育雄, 堀松 高博, 宮本 心一, 角田 茂, 南口 早智子, 武藤 学, 小川 誠司
2. 発表標題 慢性的なアルコール・タバコの暴露が関与する食道発癌メカニズム
3. 学会等名 Japan digestive disease week 2017
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Yasunori Kogure, Keisuke Kataoka, Shungo Adachi, Yosaku Watatani, Ayana Kon, Kenichi Yoshida, Masahiro Nakagawa, Tomohisa Hatta, Tohru Natsume, Seishi Ogawa,
2. 発表標題 Novel mechanism of post-transcriptional regulation of PD-L1 expression by 3' -UTR binding proteins
3. 学会等名 第79回日本血液学会学術集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Hiroo Ueno, .et al.
2. 発表標題 A Novel Prediction Model Integrating Genomic and Clinical Features in Pediatric B-Cell Acute Lymphoblastic Leukemia
3. 学会等名 第79回日本血液学会学術集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Yotaro Ochi, Ayana Kon, Kenichi Yoshida, Keisuke Kataoka, Masahiro Marshall Nakagawa, Manabu Nakayama, Haruhiko Koseki, Akifumi Takaori-Kondo, and Seishi Ogawa
2. 発表標題 Cohesin subunit Stag2 regulates Hematopoietic Differentiation and Self-Renewal
3. 学会等名 第79回日本血液学会学術総会
4. 発表年 2017年

1 . 発表者名 Seishi Ogawa
2 . 発表標題 A novel mechanism of cancer immune evasion vis 3'-UTR disruption of PD-L1
3 . 学会等名 the EMBL Cancer Genomics Conference 2017 (招待講演) (国際学会)
4 . 発表年 2017年

1 . 発表者名 Hiroo Ueno, .et al.
2 . 発表標題 Clinical Effect of Genetic Alterations in Pediatric Patients with B-Progenitor Acute Lymphoblastic Leukemia
3 . 学会等名 The 59th American Society of Hematology Annual Meeting (国際学会)
4 . 発表年 2017年

1 . 発表者名 Remco J Molenaar, Tomas Radivoyevitch, Yasunobu Nagata, Bartłomiej P. Przychodzen, Hideki Makishima, Hetty E. Carraway, Sudipto Mukherjee, Mikkael A. Sekeres, Cornelis van Noorden, and Jaroslaw P. Maciejewski
2 . 発表標題 IDH1/2-Mutated Acute Myeloid Leukemia Has Impaired DNA Damage Response and Is Sensitive to Monotherapy with the PARP Inhibitor Olaparib.
3 . 学会等名 The 59th American Society of Hematology Annual Meeting (国際学会)
4 . 発表年 2017年

1 . 発表者名 Yasunori Kogure, Keisuke Kataoka, Shungo Adachi, Yosaku Watatani, Ayana Kon, Kenichi Yoshida, Masahiro Nakagawa, Tomohisa Hatta, Tohru Natsume and Seishi Ogawa
2 . 発表標題 Novel Mechanism of Post-Transcriptional Regulation of PD-L1 Expression By 3' -UTR Binding Proteins
3 . 学会等名 The 59th American Society of Hematology Annual Meeting (国際学会)
4 . 発表年 2017年

1. 発表者名 Yoichi Fujii1, Yusuke Sato2, Hiromichi Suzuki1, Tetsuichi Yoshizato1, Yusuke Shiozawa1, Kenichi Yoshida1, Yuichi Shiraishi3, Tohru Nakagawa2, Hiroaki Nishimatsu4, Toshikazu Okaneya5, Masashi Sanada6, Hideki Makishima1, Satoru Miyano3, , Seishi Ogawa1 , Haruki Kume
2. 発表標題 上部尿路上皮癌の網羅的ゲノム解析
3. 学会等名 泌尿器科分子・細胞研究会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Yoichi Fujii1, Yusuke Sato2, Hiromichi Suzuki1, Tetsuichi Yoshizato1, Yusuke Shiozawa1, Kenichi Yoshida1, Yuichi Shiraishi3, Tohru Nakagawa2, Hiroaki Nishimatsu4, Toshikazu Okaneya5, Masashi Sanada6, Hideki Makishima1, Satoru Miyano3, , Seishi Ogawa1 , Haruki Kume
2. 発表標題 Integrated molecular analysis of upper urinary tract urothelial carcinoma"
3. 学会等名 European Urology Association (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Akira Yokoyama, .et al.
2. 発表標題 Differential role of mutations in clonal evolution in of esophageal squamous cell mucosa in high-risk individuals for cancer
3. 学会等名 American Association for Cancer Research 2017 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Seishi Ogawa
2. 発表標題 Aplastic anemia and preleukemia
3. 学会等名 2016 Justen Passwell Symposium (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Seishi Ogawa
2. 発表標題 Epigenetic & Genetic Alterations/Clonal Evolution in Bone Marrow Failure
3. 学会等名 5th TSH International Symposium (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Seishi Ogawa
2. 発表標題 Cohesin mutations and their functional implications
3. 学会等名 第21回欧州血液学会(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Seishi Ogawa
2. 発表標題 A Novel Genetic Mechanism of Evading Anti-tumor Immunity In Multiple Human Cancers
3. 学会等名 The 5th JCA - AAACR Special Joint Conference (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Seishi Ogawa
2. 発表標題 AML, MDSと遺伝子異常
3. 学会等名 The Cancer Genomics Symposium (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Seishi Ogawa
2. 発表標題 A Unique mechanism of cancer immune evasion
3. 学会等名 Sala Federica Monteleone) QOL - ONE MDS and AML MEETING (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Seishi Ogawa
2. 発表標題 A Novel Genetic Mechanism of Evading Anti-tumor Immunity In Multiple Human Cancers
3. 学会等名 第75回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Seishi Ogawa
2. 発表標題 A Novel Genetic Mechanism of Evading Anti-tumor Immunity In Multiple Human Cancers
3. 学会等名 第78回日本血液学会学術集出
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Seishi Ogawa
2. 発表標題 様々な悪性腫瘍におけるPD-L1を介する新たな免疫逃避機構の解明
3. 学会等名 第56回国際治療談話会総会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Seishi Ogawa
2. 発表標題 Cancer immune evasion via the disruption of PD-L1 3' -UTR
3. 学会等名 第32回京都賞記念ワークショップ (招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Seishi Ogawa
2. 発表標題 A Novel Genetic Mechanism of Evading Anti-tumor Immunity in Multiple Human Cancers
3. 学会等名 The 1st Meeting of Taiwan YLH Symposium series (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Seishi Ogawa
2. 発表標題 Aberrant RNA Splicing in splicing facto-mutated Myelodysplastic Syndromes
3. 学会等名 mRNA Processing and Human Disease (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Hideki Makishima, Tetsuichi Yoshizato, Kenichi Yoshida, Yasunobu Nagata, Mikkael Sekeres, Yusuke Okuno, Yuichi Shiraishi, Shigeru Chiba, Satoru Miyano, Lee-Yung Shih, Torsten Haferlach, Seishi Ogawa, Jaroslaw Maciejewski.
2. 発表標題 MDS Genomics and its Clincial Implication.
3. 学会等名 The 5th National Conference on Hematologic Oncology (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Hideki Makishima, Tetsuichi Yoshizato, Kenichi Yoshida, Yasunobu Nagata, Mikkael Sekeres, Yusuke Okuno, Yuichi Shiraishi, Shigeru Chiba, Satoru Miyano, Lee-Yung Shih, Torsten Haferlach, Seishi Ogawa, Jaroslaw Maciejewski.
2. 発表標題 Cancer Genetics 4.
3. 学会等名 The 13th International Congress of Human Genetics (ICHG2016) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Tetsuichi Yoshizato, Yusuke Shiozawa, Kenichi Yoshida, Yoshiko Atsuta, Nannya Yasuhito, Hiromichi Suzuki, Makoto Onizuka, Keisuke Kataoka, Kenichi Chiba, Hiroko Tanaka, Yuichi Shiraishi, Kousuke Aoki, Masashi Sanada, Hidehiro Itonaga, Yoshinobu Kanda, Yasushi Miyazaki, Hideki Makishima, Satoru Miyano, and Seishi Ogawa
2. 発表標題 Impact of Somatic Mutations on Outcome in Patients with MDS after Stem-Cell Transplantation
3. 学会等名 International Conference on Myelodysplastic Syndromes (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Hideki Makishima, et al.
2. 発表標題 Clonal Dynamics in Myelodysplastic Syndromes
3. 学会等名 International Conference on Myelodysplastic Syndromes (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Yusuke Sato, Yoichi Fujii, Tohru Nakagawa, Haruki Kume, Yuichi Shiraishi, Satoru Miyano, Seishi Ogawa, Yukio Homma
2. 発表標題 淡明細胞型腎細胞癌における血漿循環腫瘍DNA解析の有用性の検討
3. 学会等名 The 104th Annual Meeting of the Japanese Urological Association
4. 発表年 2016年

1 . 発表者名 Hiroo Ueno, Yuka Yamashita Kenichi Yoshida, Yusuke Shiozawa, Satomi Ishida, Hiroyuki Tsukamoto, Mayumi Kibe, Yuichi Shiraishi, Hiroko Tanaka, Kenichi Chiba, Takao Deguchi, Atsushi Sato, Yoshiko Hashii, Toshihiko Imamura, Satoru Miyano, Seishi Ogawa, Keizo Horibe, Masashi Sanada
2 . 発表標題 Clinical and biological landscape of driver mutations in pediatric acute lymphoblastic leukemia
3 . 学会等名 The 21st European Hematology Association congress (国際学会)
4 . 発表年 2016年

1 . 発表者名 Tetsuichi Yoshizato, Yusuke Shiozawa, Kenichi Yoshida, Yoshiko Atsuta, Nannya Yasuhito, Hiromichi Suzuki, Makoto Onizuka, Keisuke Kataoka, Kenichi Chiba, Hiroko Tanaka, Yuichi Shiraishi, Kousuke Aoki, Masashi Sanada, Hidehiro Itonaga, Yoshinobu Kanda, Yasushi Miyazaki, Hideki Makishima, Satoru Miyano, and Seishi Ogawa
2 . 発表標題 Impact of somatic mutations on outcome in patients with MDS after stem-cell transplantation
3 . 学会等名 The 21st Congress of European Hematology Association (国際学会)
4 . 発表年 2016年

1 . 発表者名 June Takeda, Kenichi Yoshida, Hideki Makishima, Tetsuichi Yoshizato, Yusuke Shiozawa, Hiromichi Suzuki, Yuichi Shiraishi, Yusuke Okuno, Ayana Kon, Keisuke Kataoka, Kenichi Chiba, Hiroko Tanaka, Masashi Sanada, Chantana Polprasert, Jaroslaw P. Maciejewski, and Seishi Ogawa
2 . 発表標題 GENETIC PREDISPOSITIONS TO SPORADIC MYELOID NEOPLASMS CAUSED BY GERMLINE DDX41 MUTATIONS IN ASIAN AND CAUCASIAN POPULATIONS.
3 . 学会等名 The 21st Congress of European Hematology Association (国際学会) (国際学会)
4 . 発表年 2016年

1 . 発表者名 Kenichi Yoshida, et al.
2 . 発表標題 Genetic landscape of primary central nervous system lymphoma
3 . 学会等名 The 21st Congress of European Hematology Association (国際学会)
4 . 発表年 2016年

1. 発表者名 Hideki Makishima, et al.
2. 発表標題 Dynamics of Clonal Evolution in Myelodysplastic Syndromes.
3. 学会等名 21st Congress European Hematology Association (国際学会) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Hideki Makishima
2. 発表標題 Clonal Dynamics in Myelodysplastic Syndromes.
3. 学会等名 The Japanese Society of Medical Oncology 2016 Annual Meeting (招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Yotaro Ochi, Keisuke Kataoka, Yasunobu Nagata, Akira Kitanaka, Jun-ichiro Yasunaga, Masako Iwanaga, Kisato Nosaka, Hidehiro Itonaga, Yosataka Imaizumi, Kotaro Shide, Yasushi Miyazaki, Akifumi Takaori-Kondo, Kazuya Shimoda, Masao Matsuoka, Toshiki Watanabe, Seishi Ogawa
2. 発表標題 Prognostic Relevance of Integrated Molecular Profiling in Adult T-cell Leukemia/Lymphoma
3. 学会等名 第3回日本HTLV-1学会学術集会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Yosaku Watatani, Yasuharu Sato, Kenji Nishida, Hiroaki Miyoshi, Yuichi Shiraishi, Kenichi Chiba, Hiroko Tanaka, Hiroo Ueno, Nobuyuki Kakiuchi, Yusuke Shiozawa, Tetsuichi Yoshizato, Kenichi Yoshida, Masashi Sanada, Satoru Miyano, Koichi Ohshima, Tadashi Yoshino, Seishi Ogawa, Keisuke Kataoka
2. 発表標題 ATLおよびT細胞リンパ腫における遺伝子変異プロファイルの解析
3. 学会等名 第3回日本HTLV-1学会学術集会
4. 発表年 2016年

1 . 発表者名 Akira Yokoyama, Hiromichi Suzuki, Tetsuichi Yoshizato, Yusuke Shiozawa, Yusuke Sato, Kosuke Aoki, Nobuyuki Kakiuchi, Yasuhide Takeuchi, Shigeru Tsunoda, Masashi Sanada, Satoru Miyano, Manabu Muto, Seishi Ogawa
2 . 発表標題 The 75th Annual Meeting of the Japanese Cancer Association
3 . 学会等名 Differential role of mutations in clonal evolution in esophaegal mucosal in high-risk individuals for cancer
4 . 発表年 2016年

1 . 発表者名 Tetsuichi Yoshizato, Yusuke Shiozawa, Kenichi Yoshida, Yoshiko Atsuta, Nannya Yasuhito, Hiromichi Suzuki, Makoto Onizuka, Keisuke Kataoka, Kenichi Chiba, Hiroko Tanaka, Yuichi Shiraishi, Kousuke Aoki, Masashi Sanada, Hidehiro Itonaga, Yoshinobu Kanda, Yasushi Miyazaki, Hideki Makishima, Satoru Miyano, and Seishi Ogawa
2 . 発表標題 Impact of somatic mutations on outcome in patients with MDS after stem-cell transplantation
3 . 学会等名 The 75th Annual Meeting of the Japanese Cancer Association
4 . 発表年 2016年

1 . 発表者名 Yasuhito Nannya, Kenichi Yoshida, Keisuke Kataoka, Yasunobu Nagata, Tetsuichi Yoshizato, Shigeru Chiba, Norio Aso, Yasushi Miyazaki, Hiroko Tanaka, Kenichi Chiba, Yuichi Shiraishi, Satoru Miyano, and Seishi Ogawa
2 . 発表標題 Landscape of MDS genomes as revealed by whole genome sequencing.
3 . 学会等名 The 75th Annual Meeting of the Japanese Cancer Association
4 . 発表年 2016年

1 . 発表者名 Yusuke Sato, Yoichi Fujii, Kenichi Yoshida, Yuichi Shiraishi, Kenichi Chiba, Hiroko Tanaka, Hideki Makishima, Tohru Nakagawa, Haruki Kume, Satoru Miyano, Seishi Ogawa, Yukio Homma
2 . 発表標題 淡明細胞型腎細胞癌における血漿循環腫瘍DNA解析の有用性の検討
3 . 学会等名 The 75th Annual Meeting of the Japanese Cancer Association
4 . 発表年 2016年

1. 発表者名 Nobuyuki Kakiuchi, Kenichi Yoshida, Yusuke Shiozawa, Kenichi Chiba, Yuichi Shiraishi, Takaki Sakurai, Yoshiharu Sakai, Motoi Uchino, Seiichi Hirota, Hiroki Ikeuchi, Satoru Miyano, Hiroyuki Marusawa, Seishi Ogawa
2. 発表標題 The carcinogenic sequence in colitis-associated cancer
3. 学会等名 The 75th Annual Meeting of the Japanese Cancer Association
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Kenichi Yoshida, Kenichi Chiba, Yusuke Okuno, Hiromichi Suzuki, Yuichi Shiraishi, Hiroko Tanaka, Yoshihiro Muragaki, Takashi Shiina, Satoru Miyano, Shigeru Chiba, Ryuya Yamanaka, Seishi Ogawa
2. 発表標題 Genetic landscape of primary central nervous system lymphoma
3. 学会等名 The 75th Annual Meeting of the Japanese Cancer Association
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Soo Ki Kim, Kenichi Yoshida, Yoshihide Ueda, Sachiko Minamiguchi, Toshimi Kaido, Yuichi Shiraishi, Satoru Miyano, Hironori Haga, Shinji Uemoto, Hiroshi Seno, Seishi Ogawa, Hiroyuki Marusawa
2. 発表標題 Clonal structure and oncogenic potential of liver cirrhosis tissues
3. 学会等名 The 75th Annual Meeting of the Japanese Cancer Association
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Yasunori Kogure, Keisuke Kataoka, Kenichi Yoshida, Yuichi Shiraishi, Kenichi Chiba, Hiroko Tanaka, Masashi Sanada, Motohiro Kato, Tadashi Yoshino, Kengo Takeuchi, Yuichi Ishikawa, Satoru Miyano, Seishi Ogawa
2. 発表標題 Molecular profiling across different subtypes of B-cell lymphoma
3. 学会等名 The 75th Annual Meeting of the Japanese Cancer Association
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Yusuke Shiozawa, et al.
2. 発表標題 Molecular basis of splicing factor-mutated myeloid neoplasms
3. 学会等名 The 75th Annual Meeting of the Japanese Cancer Association
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 竹田 淳恵、吉田 健一、牧島 秀樹、白石 友一、千葉 健一、千葉 滋、麻生 範雄、宮崎 泰司、直江 知樹、清井 仁、宮野 悟、小川 誠司
2. 発表標題 Clonal evolution following azacitidine therapy in patients with high-risk myelodysplastic syndromes
3. 学会等名 The 75th Annual Meeting of the Japanese Cancer Association
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Ayana Kon, Seishi Ogawa
2. 発表標題 Biological roles and potential therapeutic targeting of spliceosome mutations in myelodysplasia
3. 学会等名 The 75th Annual Meeting of the Japanese Cancer Association
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Tetsuichi Yoshizato, et al.
2. 発表標題 Clonal architecture in acquired aplastic anemia
3. 学会等名 The 75th Annual Meeting of the Japanese Cancer Association
4. 発表年 2016年

1 . 発表者名 Hideki Makishima, et al.
2 . 発表標題 Clinical Impact of Somatic Mutations on Clonal Evolution in Myelodysplastic Syndromes.
3 . 学会等名 The 78th Annual Meeting of the Japanese Society of Hematology
4 . 発表年 2016年

1 . 発表者名 Hideki Makishima
2 . 発表標題 Biomarkers in AML.
3 . 学会等名 The 78th Annual Meeting of the Japanese Society of Hematology
4 . 発表年 2016年

1 . 発表者名 Ayana Kon, Satoshi Yamazaki, Yusuke Shiozawa, Keisuke Kataoka, Yasunori Ota, Maiko Morita, Tetsuichi Yoshizato, Masashi Sanada, Kenichi Yoshida, Hideki Makisima, Yasuhito Nanya, Shinichi Kotani, June Takeda, Yosaku Watatani, Yotaro Ochi, Manabu Nakayama, Haruhiko Koseki, Hiromitsu Nakauchi, Seishi Ogawa
2 . 発表標題 The biological characterization of Srsf2 P95H mutation in the pathogenesis of myelodysplasia
3 . 学会等名 The 78th Annual Meeting of the Japanese Society of Hematology
4 . 発表年 2016年

1 . 発表者名 Yotaro Ochi, et al.
2 . 発表標題 Prognostic Relevance of Integrated Molecular Profiling in Adult T-cell Leukemia/Lymphoma
3 . 学会等名 The 78th Annual Meeting of the Japanese Society of Hematology
4 . 発表年 2016年

1 . 発表者名 Yosaku Watatani, et al.
2 . 発表標題 Comparative mutational profiling of ATL and other PTCLs
3 . 学会等名 The 78th Annual Meeting of the Japanese Society of Hematology
4 . 発表年 2016年

1 . 発表者名 June Takeda, Kenichi Yoshida, Tetsuichi Yoshizato, Yusuke Shiozawa, Hideki Makishima, Yasuhito Nannya, Hironichi Suzuki, Yuichi Shiraishi, Yusuke Okuno, Kenichi Chiba, Satoru Miyano, Masashi Sanada, Toru Kiguchi, Nobuaki Dobashi , Kensuke Usuki, Shigeru Chiba, Norio Asou, Yasuyuki Miyazaki, Tomoki Naoe, Hitoshi Kiyoi
2 . 発表標題 Clonal evolution following azacitidine therapy in patients with high-risk myelodysplastic syndromes
3 . 学会等名 The 78th Annual Meeting of the Japanese Society of Hematology
4 . 発表年 2016年

1 . 発表者名 Yasuhito Nannya, Kenichi Yoshida, Keisuke Kataoka, Yasunobu Nagata, Tetsuichi Yoshizato, Toru Kiguchi, Nobuaki Dobashi, Kensuke Usuki, Tomoki Naoe, Yukio Kobayashi, Hitoshi Kiyoi, Shigeru Chiba, Norio Aso, Yasushi Miyazaki, Hiroko Tanaka, Kenichi Chiba, Yuichi Shiraishi, Satoru Miyano, and Seishi Ogawa
2 . 発表標題 Landscape of MDS genomes as revealed by whole genome sequencing.
3 . 学会等名 The 78th Annual Meeting of the Japanese Society of Hematology
4 . 発表年 2016年

1 . 発表者名 Tetsuichi Yoshizato, et al.
2 . 発表標題 Impact of somatic mutations on outcome in patients with MDS after stem-cell transplantation
3 . 学会等名 The 78th Annual Meeting of the Japanese Society of Hematology
4 . 発表年 2016年

1 . 発表者名 Yusuke Shiozawa, et al.
2 . 発表標題 The transcriptional and alternative splicing landscape of myelodysplastic syndromes
3 . 学会等名 The 78th Annual Meeting of the Japanese Society of Hematology
4 . 発表年 2016年

1 . 発表者名 Kenichi Yoshida,et al.
2 . 発表標題 Genetic landscape of primary central nervous system lymphoma
3 . 学会等名 The 78th Annual Meeting of the Japanese Society of Hematology
4 . 発表年 2016年

1 . 発表者名 Yasunori Kogure, Keisuke Kataoka, Kenichi Yoshida, Yuichi Shiraishi, Kenichi Chiba, Hiroko Tanaka, Tetsuichi Yoshizato, Yasunobu Nagata, Masashi Sanada, Motohiro Kato, Hiraku Mori, Yasuharu Sato, Tadashi Yoshino, Kengo Takeuchi, Yuichi Ishikawa, Satoru Miyano, Seishi Ogawa
2 . 発表標題 Molecular profiling across different subtypes of B-cell lymphoma
3 . 学会等名 The 78th Annual Meeting of the Japanese Society of Hematology
4 . 発表年 2016年

1 . 発表者名 Yasuhito Nannya
2 . 発表標題 Progress in diagnosis and therapy in myelodysplastic syndromes.
3 . 学会等名 The 78th Annual Meeting of the Japanese Society of Hematology
4 . 発表年 2016年

1. 発表者名 Yusuke Sato, Yoichi Fujii, Kenichi Yoshida, Yuichi Shiraishi, Kenichi Chiba, Hiroko Tanaka, Hideki Makishima, Tohru Nakagawa, Haruki Kume, Satoru Miyano, Seishi Ogawa, Yukio Homma
2. 発表標題 淡明細胞型腎細胞癌における血漿循環腫瘍DNA解析の有用性の検討
3. 学会等名 第54回日本癌治療学会学術集会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Soo Ki Kim, Seishi Ogawa, Hiroyuki Marusawa
2. 発表標題 Genomic approaches to uncover the clonal structure and oncogenic potential of liver cirrhosis
3. 学会等名 The 24th Japanese Digestive Disease Week (JDDW) 2016
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Tetsuichi Yoshizato, et al.
2. 発表標題 Clinical significance of mutations and copy number lesions on prognosis of patients with MDS after unrelated bone marrow transplantation
3. 学会等名 The 58th American Society of Hematology Annual Meeting (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Hiroo Ueno, et al.
2. 発表標題 Landscape of Driver Mutations and Their Clinical Impacts in Pediatric Acute Lymphoblastic Leukemia
3. 学会等名 The 58th American Society of Hematology Annual Meeting (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Hideki Makishima, et al.
2. 発表標題 The Impact of Clonal Dynamics on Prognosis and Outcome in Myelodysplastic Syndromes
3. 学会等名 The 58th American Society of Hematology Annual Meeting
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Hideki Makishima
2. 発表標題 Distinct genetic events in PNH and AA.
3. 学会等名 The 58th American Society of Hematology Annual Meeting
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Kenichi Yoshida et al.
2. 発表標題 Whole-Genome Sequencing of Primary Central Nervous System Lymphoma and Diffuse Large B-Cell Lymphoma
3. 学会等名 The 58th American Society of Hematology Annual Meeting
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Kenichi Yoshida
2. 発表標題 Genetic landscape of childhood acute myeloid leukemia
3. 学会等名 第58回日本小児血液・がん学会学術集会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 吉田 健一
2. 発表標題 がんにおけるクロマチン構造制御因子の異常
3. 学会等名 第39回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Seishi Ogawa
2. 発表標題 がん研究の今と展望
3. 学会等名 統計数理研究所 数学協働プログラム 「がんゲノム解析の数理」(招待講演)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Seishi Ogawa
2. 発表標題 骨髄異形成症候群の遺伝学的基盤について
3. 学会等名 第47回藤田学園医学会(招待講演)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Seishi Ogawa
2. 発表標題 がんの起源と多様性について/The origin and diversity of human cancer
3. 学会等名 第74回日本癌学会学術総会/The 74th Annual Meeting of the Japanese Cancer Association(招待講演)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Seishi Ogawa
2. 発表標題 成人T細胞白血病の統合的分子解析
3. 学会等名 日本人類遺伝学会第60回大会（招待講演）
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Seishi Ogawa
2. 発表標題 Genetic mutations in myeloid malignancy - germ-line and acquired mutations of hematological tumors
3. 学会等名 第77回日本血液学会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Seishi Ogawa
2. 発表標題 Integrated Molecular Analysis of Adult T-cell Leukemia/Lymphoma
3. 学会等名 Commemorative Symposium for the Opening of Personalized Cancer Medicine, Center SNU Cancer Hospital（招待講演）
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Seishi Ogawa
2. 発表標題 成人T細胞白血病リンパ腫の統合分子解析
3. 学会等名 第61回日本病理学会 秋期特別総会（招待講演）
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Seishi Ogawa
2. 発表標題 Clonal Hematopoiesis and somatic mutations in Aplastic Anemi
3. 学会等名 the 56th Autumn Meeting of the Korean Society of Hematology (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Seishi Ogawa
2. 発表標題 Molecular profiling of MDS
3. 学会等名 the 56th Autumn Meeting of the Korean Society of Hematology (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Seishi Ogawa
2. 発表標題 ゲノム情報の医療応用とその課題
3. 学会等名 現場からの医療改革推進協議会第十回シンポジウム (招待講演)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Seishi Ogawa
2. 発表標題 Integrated molecular analysis of adult T-cell leukemia lymphoma
3. 学会等名 Tenth AACR-JCA Joint Conference on Breakthroughs in Cancer Research: From Biology to Therapeutics (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Seishi Ogawa
2. 発表標題 Integrated molecular analysis of adult T-cell leukemia/lymphoma
3. 学会等名 OOTR 12th & KBCCC 2016 Conference (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 June Takeda, Seishi Ogawa et.al.
2. 発表標題 家族性または散発性骨髄系腫瘍におけるDDX41胚細胞変異の検討
3. 学会等名 第74回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Tetsuichi Yoshizato, Seishi Ogawa et.al.
2. 発表標題 Impact of Somatic Mutations on Outcome in Patients with MDS after Stem-Cell Transplantation
3. 学会等名 57th American Society of Hematology Annual Meeting
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Kenichi Yoshida, Seishi Ogawa et.al.
2. 発表標題 Genetic Basis of Primary Central Nervous System Lymphoma
3. 学会等名 57th American Society of Hematology Annual Meeting (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Hideki Makishima, Seishi Ogawa et.al.
2. 発表標題 Serial Sequencing in Myelodysplastic Syndromes Reveals Dynamic Changes in Clonal Architecture and Allows for a New Prognostic Assessment of Mutations Detected in Cross-Sectional Testing
3. 学会等名 57th American Society of Hematology Annual Meeting (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Hiroo Ueno, Seishi Ogawa et.al.
2. 発表標題 Genome-wide analysis of fusion genes using RNA sequencing for relapsed childhood acute lymphoblastic leukemia
3. 学会等名 第57回小児血液がん学会学術集会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Hiroo Ueno, Seishi Ogawa et.al.
2. 発表標題 Genome-wide analysis of fusion genes using RNA sequencing for relapsed childhood acute lymphoblastic leukemia
3. 学会等名 第57回小児血液がん学会学術集会
4. 発表年 2015年

〔図書〕 計0件

〔出願〕 計1件

産業財産権の名称 ヒトにおける骨髄腫瘍の発症又は発症リスクを検査する指標の取得方法ヒトにおけるD D X 4 1 遺伝子の体細胞変異の存在又は将来的な発生を予測する指標の取得方法並びにこれらの検査又は予測のためのキット	発明者 小川誠司、牧島秀樹、吉田健一	権利者 同左
産業財産権の種類、番号 特許、2015-093599	出願年 2015年	国内・外国の別 国内

〔取得〕 計0件

〔その他〕

https://www.med.kyoto-u.ac.jp/organization-staff/research/doctoral_course/r-006/
 http://plaza.umin.ac.jp/kyoto_tumorpatho/
 https://researchmap.jp/7000009356/

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	佐藤 悠佑 (SATO YUSUKE) (20372378)	東京大学・医学部附属病院・講師 (12601)	
研究分担者	牧島 秀樹 (MAKISHIMA HIDEKI) (40402127)	京都大学・医学研究科・准教授 (14301)	
研究分担者	南谷 泰仁 (NANNYA YASUHITO) (60451811)	京都大学・医学研究科・特定准教授 (14301)	
研究分担者	江藤 浩之 (ETO KOJI) (50286986)	京都大学・iPS細胞研究所・教授 (14301)	削除：平成29年10月20日
連携研究者	吉田 健一 (YOSHIDA KENICHI) (50738226)	京都大学・医学研究科・助教 (14301)	現在留学中

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
連携研究者	片岡 圭亮 (KATAOKA KEISUKE) (90631383)	国立がん研究センター・研究所・分野長 (82606)	
連携研究者	佐藤 悠佑 (SATO YUSUKE) (20372378)	東京大学・医学部附属病院・講師 (12601)	
連携研究者	永田 安伸 (NAGATA YASUNOBU) (90739575)	京都大学・医学研究科・特定助教 (14301)	現在留学中
連携研究者	本間 之夫 (HONMA YUKIO) (40165626)	東京大学・医学部附属病院・教授 (12601)	採択当時の所属・役職
連携研究者	武藤 学 (MUTO MANABU) (40360698)	京都大学・医学研究科・教授 (14301)	
連携研究者	千葉 滋 (CHIBA SHIGERU) (60212049)	筑波大学・医学医療系・教授 (12102)	
連携研究者	夏目 敦至 (NATSUME ATSUSHI) (30362255)	名古屋大学・医学研究科・准教授 (13901)	
連携研究者	三木 恒治 (MIKI TSUNEHARU) (10243239)	京都府立医科大学・医学研究科・教授 (24303)	採択当時の所属・役職

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
連携研究者	三森 功士 (MIMORI KOSHI) (50322748)	九州大学・大学病院・教授 (17102)	
連携研究者	高折 晃史 (TAKAORI AKIFUMI) (20324626)	京都大学・医学研究科・教授 (14301)	
連携研究者	戸井 雅和 (TOI MASAKAZU) (10207516)	京都大学・医学研究科・教授 (14301)	